

指導と評価の計画

教科名 :

国語

科目名 :

現代の国語

1 単元名 :

理想の修学旅行をプレゼンする

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めようとしている。	実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにし、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(5) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ・プレゼンテーションをする際に重要なことをワークシートにまとめる。 ・グループを作成し、プレゼンテーションの準備をする。 	<input type="radio"/>			<p>【知識・技能】 ワークシートの記述の確認</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 作業への参加状況の確認</p>
2 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションを実施する。 ・相互評価を実施する。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<p>【思考・判断・表現】 プレゼンテーションの確認、分析</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 プレゼンテーションの確認</p>

指導と評価の計画

教科名 :

国語

科目名 :

現代の国語

1 単元名 :

合意形成のための話し合いを行う

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。	「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。	比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使い、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(2) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ・話し合いの進め方のルールをワークシートへの記入を通して理解する。 ・アイデアを広げ、深めるための方法を知り、実践する。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<p>【知識・技能】 ワークシートの記述の確認</p> <p>【思考・判断・表現】 話し合いの状況の確認</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認 話し合いの状況の確認</p>

指導と評価の計画

教科名 :

国語

科目名 :

現代の国語

1 単元名 :

社会に対する意見文を書く

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
推論の仕方を理解し使っている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。	推論の仕方を理解し使い、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ・意見文の書き方や構成を理解する。 ・テーマに沿って意見文を作成する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>		【知識・技能】 意見文の記述の確認 【思考・判断・表現】 意見文の記述の確認、分析
2 (5)	・他者の意見文を読み、それに対する意見文を作成する。 ・相互に意見文を読み合い、評価し合う。		<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【思考・判断・表現】 意見文の記述の確認、分析 【主体的に学習に取り組む態度】 意見文の記述の確認、分析

指導と評価の計画

教科名 :

国語

科目名 :

言語文化

1 単元名 :

『宇治拾遺物語』児のそら寝

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語の決まりや訓読の決まり、古典特有の表現などについて理解している。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 歴史的仮名遣いの書き方や読み方など、文語のきまりを理解する。 用言（動詞）の活用を学び、実際に文章の中でどのように用いられているのか確認する。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<p>【知識・技能】 ワークシートの記述の確認、定期試験</p>
2 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 古典の説話をという文章の種類を踏まえつつ、登場人物の人物像、心情、笑いが生まれる理由を、文中の記述を基に適確に捉える。 説話のおもしろさがどこにあるのか、互いに意見を伝え合う。 		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<p>【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認、定期試験</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認</p>

指導と評価の計画

教科名：国語

科目名：言語文化

1 単元名：

「羅生門」

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用している。	「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・ 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ・ 本文中の漢字の書き取りや語句の意味調べを行うことで語彙を豊かにし、それらを短文を作成する中で使用する。	<input type="radio"/>			【知識・技能】 ワークシートの記述の確認、定期試験
2 (5)	・ 作品の舞台背景を踏まえ、下人の心の動きや老婆の考え方を本文に即して読み解く。 ・ 下人の心の動きや老婆の考え方を踏まえ、下人が盜人になる経緯を捉える。 ・ 典拠となった『今昔物語集』の説話と記述を比較し、内容の解釈を深める。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

指導と評価の計画

教科名：国語

科目名：言語文化

1 単元名：『今昔物語集』「羅城門の上層に上りて死人を見る盗人の語」

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにし、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもとうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(2) 時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ・全文を読み通し、初読の感想を書く。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	【知識・技能】 ワークシートの記述の確認、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認
2 (1)	・下人について、芥川龍之介「羅生門」と比較し、それらの共通点と相違点を指摘する。 ・本文の記述を踏まえ、両作品それぞれでの下人の人物像を自分なりに考え、他者と共有する。 ・単元の学習をワークシートで振り返る。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

1 単元名 :

『枕草子』ありがたきもの

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
時間の経過による言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解を深めている。	「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	学習の見通しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ・ 用言（形容詞・形容動詞）の活用を学び、実際に文章の中でどのように用いられているのか確認する。 ・ 隨筆という文章のジャンルについて、その特徴を理解する。 	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<p>【知識・技能】 ワークシートの記述の確認、定期試験</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認</p>
2 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自由に記述された隨筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。 ・ 隨筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・ 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<p>【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認、定期試験</p>
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作者が述べた「ありがたし」の例について現代人が共感できるか否かを、根拠を挙げた上で評価する。 ・ 単元の学習をワークシートで振り返る。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<p>【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認、定期試験</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認</p>

1 単元名 :

[言語活動] 「ありがたきもの」をテーマに随筆を書く

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。	「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。	「ありがたきもの」を振り返り、構成や表現に工夫を凝らして随筆を書こうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(2) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (0.5)	・ 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。				
2 (1.5)	・ 『枕草子』「ありがたきもの」で学んだことを踏まえ、現代における「ありがたきもの」とは何かを考える。 ・ 自分の経験に即した上で、現代における「ありがたきもの」について随筆に書き表す。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【知識・技能】 成果物の記述の確認 【思考・判断・表現】 成果物の記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 成果物の記述の確認

指導と評価の計画

教科名：国語

科目名：言語文化

1 単元名：

『舟を編む』

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	叙述を基に人物像や心情を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ・全文を読み通し、初読の感想を書く。 ・本文中の漢字の書き取りや語句の意味調べを行うことで語彙を豊かにし、それらを短文を作成する中で使用する。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	【知識・技能】 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認
2 (4)	・話の構成と展開を理解し、せりふや行動から人物像と心情を読み取る。 ・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・「西行」の例を通して、言葉の多様性を理解する。		<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>		【知識・技能】 定期試験 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験
3 (1)	・登場人物のやりとりを踏まえて、「言葉を大切にするはどういうことか」について考えて共有する。 ・単元の学習をワークシートで振り返る。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

指導と評価の計画

教科名：国語

科目名：言語文化

1 単元名：

伊勢物語『芥川』

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語の決まりや訓読の決まり、古典特有の表現などについて理解している。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 語句の量を増やし語彙を豊かにする。 形容詞、形容動詞、助動詞について、文語のきまりを理解する。動詞についても復習する。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/>			<p>【知識・技能】 ワークシートの記述の確認 定期試験</p>
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> 和歌の修辞法を理解し、文中での働きや役割を押さえることで、歌物語の特徴を理解する。 歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 話の展開や「男」の行動を整理することで、和歌に込められた「男」の心情を理解する。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>		<p>【知識・技能】 ワークシートの記述の確認 定期試験</p> <p>【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験</p>
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 物語と和歌のかかわりについて考えたことをまとめ、共有する。 単元の学習をワークシートで振り返る。 		<input type="radio"/> <input type="radio"/>		<p>【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認</p>

指導と評価の計画

教科名：国語

科目名：言語文化

1 単元名：

『漁夫之利』

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	・ 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ・ 漢文の訓読のきまりを理解する。	<input type="radio"/>			【知識・技能】 ワークシートの記述の確認 定期試験
2 (3)	・ 寓話を通して、日本語の中に生きる漢文由来の言葉の成立背景を捉える。 ・ 「故事成語」という文章の種類や解説文を踏まえて、本文の内容や展開を理解する。 ・ 登場人物それぞれの立場を整理し、話のおもしろさを読み取る。		<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>		【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験
3 (1)	・ 漢文に基づく故事成語が現代の日本語でどのように用いられているかを考え、まとめる。 ・ 単元の学習をワークシートで振り返る。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

指導と評価の計画

教科名 :

国語

科目名 :

言語文化

1 単元名 :

徒然草『ある人、弓射ることを習ふに』

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語の決まりや訓読の決まり、古典特有の表現などについて理解している。	「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合うとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ・主として助動詞について、文語のきまりを理解する。動詞、形容詞、形容動詞についても復習する。	<input type="radio"/>			【知識・技能】 ワークシートの記述の確認 定期試験
2 (2)	・随筆という文章の種類を踏まえて、筆者の主張を捉える。 ・登場人物のやりとりを通して、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を理解する。		<input type="radio"/> <input type="radio"/>		【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験
4 (1)	・筆者の主張を踏まえて自分なりに教訓を考え、まとめる ・単元の学習をワークシートで振り返る。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

1 単元名 : [言語活動] 本歌取りを用いて短歌を作る

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。	「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。	進んで折句の技法と伝統を理解し、学習課題に沿って折句を用いて短歌を創作しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画 (2)時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ・本歌取りという表現技法とその効果について理解する。 ・教科書掲載分の短歌を鑑賞し、本歌とする短歌を決める。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		【知識・技能】 ワークシートの記述の確認 定期試験 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験
2 (1)	・本歌取りのきまりを踏まえて、好きな歌を本歌とした短歌を創作する。 ・単元の学習をワークシートで振り返る。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

指導と評価の計画

教科名 :

国語

科目名 :

言語文化

1 単元名 :

詩歌

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。	「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	工夫された表現の効果に着目して、内容及び作品世界を解釈しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ・短歌や俳句を中心とした詩歌の鑑賞を通して、作品に込められた心情や作品世界を捉える。		<input type="radio"/>		【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の内容 定期試験
2 (2)	・短歌や俳句を中心とした詩歌の解説文を読み、言葉がもつ力や作品内容の理解を深める。 ・単元の学習をワークシートで振り返る。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【知識・技能】 ワークシートの記述の確認 定期試験 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

指導と評価の計画

教科名 :

国語

科目名 :

言語文化

1 単元名 :

漢詩

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語の決まりや訓読の決まり、古典特有の表現などについて理解している。	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	漢詩のきまりを進んで理解し、学習の見通しをもって漢詩を鑑賞しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ・漢文の訓読のきまりを復習する。 ・漢詩の構成や形式、表現技法を理解する。	<input type="radio"/> <input type="radio"/>			【知識・技能】 定期試験
2 (2)	・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、表現や技法によってどのような特色が生じるか考察する。 ・作品の成立背景を踏まえ、作品の構成や展開を読み取り内容を解釈する。 ・単元の学習をワークシートで振り返る。		<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

1 単元名 :

和歌

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
我が国の言語文化の特質について理解している。	「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	和歌の修辞技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉えようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(3) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ・和歌の修辞技法や文語のきまりを理解する。	<input type="radio"/>			【知識・技能】 定期試験
2 (2)	・修辞技法に留意しながら、作品の内容を読み取る。 ・それぞれの作品に表れている作者のものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・単元の学習をワークシートで振り返る。		<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

1 単元名 :

〔言語活動〕 「祭り」をテーマに隨筆を書く

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用している。	「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。	伝統文化に関して積極的に題材を集め、集めた題材のよさや味わいを吟味しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(3) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ・題材について他者と意見交換を行い、構成メモを作成する。			<input type="radio"/>	【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認
2 (2)	・端末を用いて「祭り」について情報収集を行い、構成メモを完成させる。 ・構成メモを基に常用漢字の誤字や誤用に注意しつつ、隨筆を書き表す。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【知識・技能】 成果物の記述の確認 【思考・判断・表現】 成果物の記述の確認

指導と評価の計画

教科名：

公民

科目名：

公共

1 単元名：

生活のなかの公共

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人間としての在り方生き方、人間は個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに対話を通じて互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であることを理解し、他者の価値観を尊重し、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付けるために、伝統や文化、先人の取組などの資料を適切かつ効果的に調べまとめている。	地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。	公共的な空間と人間との関わり、人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して、社会に参画する自立した主体とは何かについて解決しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(5)時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ・青年期の課題への理解を通じて、自らの生き方を考える。		<input type="radio"/>		【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ノート）」の確認
2 (2)	・社会の課題について学習し、その課題についてどのように向き合うのかについて理解する。	<input type="radio"/>			【知識・技能】 ・小テストの確認
3 (1)	・多様な文化が共存する社会に関して対話を通じて考え、プリント（ノート）へのまとめを通して理解する。		<input type="radio"/>		【思考・判断・表現】 ・「振り返りシート」の確認

指導と評価の計画

教科名： 公民

科目名： 公共

1 単元名：

西洋近代の思想

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。	倫理的価値の判断において、個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、公正などの義務を重視する考え方などを活用して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。	主体的に社会に参画し、他者と協働することに向けて、幸福、正義、公正などに着目して、主体的に課題を追究したり解決しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4)時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ・古代ギリシアの思想を学習し、共同社会での生き方について、考えをまとめる。		<input type="radio"/>		【思考・判断・表現】 ・「振り返りシート」の確認
2 (2)	・功利主義の考え方について学習し、功利主義者の考える幸せな社会について理解する。		<input type="radio"/>		【知識・技能】 ・小テストの確認
3 (1)	・ロールズが唱えた正義の原理に関して対話を通して考え、プリント（ノート）へのまとめを通して理解する。			<input type="radio"/>	【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ノート）」の確認

指導と評価の計画

教科名 :

公民

科目名 :

公共

1 単元名 :

現代の諸課題と倫理

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現代の諸課題について誰もが納得できる解決方法を見いだすことに向け、個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、公正などの義務を重視する考え方や、公正などの義務を重視する考え方を活用することを通して、人間としての在り方生き方にについて探求することが重要であることを理解しているとともに、人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を探集し、読み取る技能を身に付けています。	倫理的な判断において、個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、公正などの義務を重視する考え方などを活用し、誰もが納得できる解決方法を見いだすことにより向かうべき考え方や、公正などの義務を重視する考え方を活用することを通して、人間としての在り方生き方にについて探求することが重要であることを理解しているとともに、人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けています。	主体的に社会に参画し、他者と協働することに向けて、幸福、正義、公正などに着目して、環境保護、生命倫理などの諸課題を主体的に追究したり、解決したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ・自由、権利、責任、社会秩序、権力などの意義を理解する。	<input type="radio"/>			【知識・技能】 ・小テストの確認
2 (1)	・意思決定の正しさがどのようなことに由来しているのかについて理解する。			<input type="radio"/>	【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ノート）」の確認
3 (1)	・社会規範と法の関係性に着目し、現代の課題について考えをまとめる。			<input type="radio"/>	【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ノート）」の確認
4 (1)	・単元の内容を振り返り、学んだ内容についてのまとめのテストを行う。	<input type="radio"/>			【知識・技能】 ・小テストの確認

1 単元名 :

民主社会の基本原理

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。	公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現することができる。	自主的によりよい公共的な空間を作り出していくこうとする自立した主体となることに向けて、幸福、正義、公正などに着目して、課題を追究したり解決したりしようとする。

3 単元の指導と評価の計画

(3)時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・民主政治と基本的人権に関して、対話を通して考え、プリント（ノート）へのまとめを通して理解する。		<input type="radio"/>		【思考・判断・表現】 ・「授業プリント（ノート）」や「ワークノート」への記述の確認
2 (1)	・権力分立と法の支配に関して、対話を通して考え、プリント（ノート）へのまとめを通して理解する。		<input type="radio"/>		【知識・技能】 「ワークノート」への記述の確認
3 (1)	・個人と社会のかかわりに関して対話を通して考え、プリント（ノート）へのまとめを通して理解する。			<input type="radio"/>	【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ノート）」の確認

1 単元名：

日本社会の基本原理

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など日本国憲法の基礎にある考え方について理解している。また、各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保と共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。	個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など日本国憲法の基礎にある考え方の理解を基に、各人の意見や利害の対立を捉え、それを公平・公正に調整するための基本的原理を考察し、表現することができる。	個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など日本国憲法の基礎にある考え方方に着目し、公共的な空間における基本的原理と日本国憲法の基本的原則との関連を考察し、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7)時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・日本国憲法と基本原理に関して、対話を通して考え、プリント（ノート）へのまとめを通して理解する。	<input type="radio"/>			【知識・技能】 ・「ワークノート」の確認
2 (1)	・平等権・自由権に関して、対話を通して考え、プリント（ノート）へのまとめを通して理解する。		<input type="radio"/>		【思考・判断・表現】 ・「授業プリント（ノート）」や「ワークノート」への記述の確認
3 (1)	・社会権・参政権・請求権に関して、対話を通して考え、プリント（ノート）へのまとめを通して理解する。	<input type="radio"/>			【知識・技能】 ・「ワークノート」の確認
4 (1)	・人権の広がりに関して、対話を通して考え、プリント（ノート）へのまとめを通して理解する。			<input type="radio"/>	【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ノート）」の確認
5 (1)	・国会のしくみと役割に関して、対話を通して考え、プリント（ノート）へのまとめを通して理解する。		<input type="radio"/>		【思考・判断・表現】 ・「授業プリント（ノート）」や「ワークノート」への記述の確認
6 (1)	・内閣のしくみと行政機構に関して、対話を通して考え、プリント（ノート）へのまとめを通して理解する。	<input type="radio"/>			【知識・技能】 ・「ワークノート」の確認
7 (1)	・教科書の重要テーマに関して対話を通して考え、プリント（ノート）へのまとめを通して理解する。 ・単元のまとめの小テストに取り組む。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	【知識・技能】 ・小テストの確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ノート）」の確認

指導と評価の計画

教科名 :

公民

科目名 :

公共

1 単元名 :

司法参加の意義

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
国民の権利を守り社会の秩序を維持するために法に基づく公正な裁判が保障され、公正な裁判のために司法権の独立が必要であり国民の参加が大切であることを理解している。	模擬裁判など司法の手続きを模擬的に体験することにより、裁判や法律家が果たす役割、適正な手続き証拠や、論拠に基づき公平・公正に判断することについて多面的・多角的に考察、構想し表現している。	主権者として、司法に関心をもち、積極的に参画する責任について自覚をもち、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(3)時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	司法権と日本の裁判制度 裁判所のしくみと働きについて理解する。	<input type="radio"/>			【知識・技能】 ・「ワークノート」の確認
2 (1)	司法参加の意義 司法権の独立の意義について考える。			<input type="radio"/>	【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ノート）」の確認 ・小テストの確認
3 (1)	模擬裁判 「模擬裁判」を事例に、裁判や法律家が果たす役割、適正な手続き、証拠や論拠に基づき公平・公正に判断することについて多面的・多角的に考察、表現する。		<input type="radio"/>		【思考・判断・表現】 ・「授業プリント（ノート）」や「ワークノート」への記述の確認

1 単元名：

政治参加と民主政治の課題

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
民主政治は多数決が基本であるが、その際には少数者の権利や意見の尊重が必要であること、国民の多様な意見を国政や地方の政治に十分に反映させるために、表現の自由の保障が重要であること、世論の形成に当たっては、政党の役割、圧力団体や住民運動の影響、マス・コミュニケーションの働きが大きいことを理解している。	自らが居住している地域社会の課題に関する必要な情報を適切かつ効果的に収集、考察し、関連する世論調査の結果の分析などをを行い、社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。	平和で民主的な国家及び社会の形成者となることについての自覚や、政治に参加することの重要性についての理解を深め、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(5)時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	選挙の役割と意義 選挙制度の役割や意義について、日本や世界の選挙制度を見比べ多面的・多角的に表現する。		<input type="radio"/>		【思考・判断・表現】 ・「授業プリント（ノート）」や「ワークノート」への記述の確認
2 (1)	政党の役割 政党の役割や課題について日本の事例などをもとに、多面的・多角的に表現する。		<input type="radio"/>		【思考・判断・表現】 ・「授業プリント（ノート）」や「ワークノート」への記述の確認
3 (1)	地方自治の現状と課題 地方自治のしくみと意義や選挙のしくみと課題について理解する。		<input type="radio"/>		【知識・技能】 ・「ワークノート」の確認
4 (1)	世論の形成と政治参加 「模擬請願」を事例に、現在住んでいる自治体が抱える課題について適切に情報を収集し、読み取って、課題の解決の在り方について考察、構想する。			<input type="radio"/>	【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ノート）」の確認 ・小テストの確認
5 (1)	民主政治の基本原理と世論 諸資料から、民主政治において世論が果たす役割と課題について読み取る。			<input type="radio"/>	【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ノート）」の確認 ・小テストの確認

1 単元名 :

国際政治の動向

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
国内政治とは異なる特質がある国際政治に関して、相互に對等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割について理解している。また、グローバル化の中で国際法の重要性が高まってきていていることを理解している。	領土問題や戦後の国際情勢、現代の紛争については、様々な国家間で未解決の問題があり、平和的な解決に向けて広い視野に立ち、事実を基に多面的・多角的に考察している。	領土問題や、日本人拉致事件問題など、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(3)時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	国際社会と国際法 諸資料から、国際社会における国家主権の意味と、国際関係を規定する国際法の意義及びその発達について読み取る。			<input type="radio"/>	【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ノート）」の確認 ・小テストの確認
2 (1)	戦後の国際情勢 第二次世界大戦後、世界の体制はどのような展開をしたのかを理解する。また、その歴史の中で、核拡散防止の現状と核軍縮に向けた取り組みについて理解する。	<input type="radio"/>			【知識・技能】 ・「ワークノート」の確認
3 (1)	現代の紛争 諸資料を基に、現代社会における紛争についてその要因や今後の動きについて多面的・多角的に表現している。		<input type="radio"/>		【思考・判断・表現】 ・「授業プリント（ノート）」や「ワークノート」への記述の確認

指導と評価の計画

教科名：

公民

科目名：

公共

1 単元名：

国際政治の課題と日本の役割

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日本国憲法の平和主義や日本の防衛に関する基本的な事柄について理解している。また、変化する国際情勢の中で日本の安全が世界の平和の維持と関連していることについて理解している。	日本の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	国際連合憲章や日米安全保障条約などの条約や平和主義を掲げる日本国憲法の下、変化する国際情勢の中で、日本の安全と平和を維持するための取り組みや課題を追究したり解決したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(5)時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	日本の安全保障 具体的な事例を通して、我が国の安全保障に自衛隊の果たしてきた役割を理解するとともに、日本の安全保障の在り方について理解する。	<input type="radio"/>			【知識・技能】 ・「ワークノート」の確認
2 (1)	日本の防衛体制 日本の戦後における外交のあゆみを通して、平和な社会を作るために日本の外交が果たしてきた役割とその課題について多面的・多角的に表現する。		<input type="radio"/>		【思考・判断・表現】 ・「授業プリント（ノート）」や「ワークノート」への記述の確認
3 (1)	軍縮への動き 諸資料から、核拡散防止の現状と核軍縮に向けた取り組みについて読み取る。			<input type="radio"/>	【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ノート）」の確認 ・小テストの確認
4 (1)	国際連合の組織と課題 国際連合と国際機関の意義と役割について理解する。	<input type="radio"/>			【知識・技能】 ・「ワークノート」の確認
5 (1)	世界の人権問題と日本 世界の人権問題に対する、日本の取り組みについて諸資料をもとに多面的・多角的に表現する。		<input type="radio"/>		【思考・判断・表現】 ・「授業プリント（ノート）」や「ワークノート」への記述の確認

1 単元名：

経済の仕組みと産業の変化

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
職業選択、雇用と労働問題などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通じて、より活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。	働くことの意義や産業構造の変化、労働契約や現代の労働問題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことと議論したりしている。	人工知能（AI）の進化による労働市場への影響や、技術革新・産業構造の変化により働き手に求められる能力は何か、労使間で結ぶ労働契約や現代の労働問題について主体的に追究したり解決したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	経済生活のしくみ 市場メカニズムなど経済の基礎的なしくみと概念について理解する。	<input type="radio"/>			【知識・技能】 ・「ワークノート」の確認
2 (1)	企業の働きと役割 企業の役割とはたらきについて多面的・多角的に考察、表現する。		<input type="radio"/>		【思考・判断・表現】 ・「授業プリント（ノート）」や「ワークノート」への記述の確認
3 (1)	日本を支える中小企業と農業 日本社会における中小企業や農業の役割や課題について理解する。	<input type="radio"/>			【知識・技能】 ・「ワークノート」の確認
4 (1)	産業構造の変化と職業 「職業選択」を事例に、社会の急激な変化や、それに対応する社会的な起業の意義とともに、働くことの意義について考察する。			<input type="radio"/>	【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ノート）」の確認 ・小テストの確認
5 (1)	労働者の権利 「雇用と労働」を事例に、労働者の権利や労働契約を巡る法規制の形態について考察する。			<input type="radio"/>	【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ノート）」の確認 小テストの確認
6 (1)	現代の労働問題 日本型雇用慣行および労働者をめぐる状況の変化について理解する。		<input type="radio"/>		【思考・判断・表現】 ・「授業プリント（ノート）」や「ワークノート」への記述の確認

1 単元名：

法と契約

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任などに関する現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きにのっとり、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。	法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。	自立した主体としてよりよい社会の形成に参画することに向けて、現実社会の諸課題に関する具体的な主題を設定し、他者と協働して主題を追究したり解決したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(3)時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	法・規範の意義と役割 「市場経済の機能と限界」を事例にして、市場の失敗の事例とその対応方法について考察する。			<input type="radio"/>	【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ノート）」の確認
2 (1)	経済社会とルール 市場メカニズムなど経済の基礎的なしくみと概念について理解する。	<input type="radio"/>			【知識・技能】 ・「ワークノート」の確認 ・小テストの確認
3 (1)	契約と消費者的権利 事例などの諸資料から、消費者的権利や現代における課題について考察し、表現する。		<input type="radio"/>		【思考・判断・表現】 ・「授業プリント（ノート）」や「ワークノート」への記述の確認

指導と評価の計画

教科名：

公民

科目名：

公共

1 単元名：

市場経済のしくみと金融

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
市場メカニズムや金融など経済の基礎的なしくみと概念、企業の役割とはたらきについて理解している。	市場経済の機能と限界を事例にして、市場の失敗の事例とその対応方法について考察し、表現している。	市場経済や金融の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(5)時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【市場経済のしくみと物価】 市場メカニズムなど経済の基礎的なしくみと概念について多面的・多角的に考察、表現している。		○		【思考・判断・表現】 ・ワークノートへの記述の確認 ・授業課題の確認
2 (1)	【国民所得と経済成長】 戦後の日本の経済の発展の歴史、GDPやGNIなど国の経済をはかる「ものさし」について考察している。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業課題の確認
3 (2)	【金融の役割と金融政策】 金融機関や金融市场の役割、金融制度がどのように変化してきたのか多面的・多角的に考察、表現している。		○		【思考・判断・表現】 ・ワークノートへの記述の確認 ・授業課題の確認
4 (1)	【労働に関する制度と課題】 「雇用と労働」を事例に、労働者の権利や労働契約を巡る法規制の形態について考察、表現している。		○		【思考・判断・表現】 ・ワークノートへの記述の確認 ・授業課題の確認

指導と評価の計画

教科名 :

公民

科目名 :

公共

1 単元名 :

財政と社会保障

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
財政や社会保障制度の歴史的経過を把握させ、制度の内容と課題について理解している。	日本の社会保障や財政に係わる資料等を読み取って、循環可能な社会保障制度の在り方について、考察、表現している。	国と地方公共団体の財政状況に関する情報を収集し、財源の調達や財政再建の課題を提示し、多面的・多角的な意見を持つとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(3)時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【財政と租税の役割】 政府の経済活動と財政政策、租税の種類、日本の財政の課題について理解している。	<input type="radio"/>			【知識・技能】 ・ワークノートの記述の確認
2 (1)	【公害対策と環境保全】 日本の経済成長と公害、公害への対策、環境保全への取り組みについて考察している。			<input type="radio"/>	【主体的に学習に取り組む態度】 ・ワークノートへの記述の確認 ・授業課題の確認
3 (1)	【少子高齢社会における社会保障】 少子高齢化が進む状況、日本の社会保障制度や福祉社会について多面的・多角的に考察、表現している。		<input type="radio"/>		【思考・判断・表現】 ・ワークノートへの記述の確認 ・授業課題の確認

指導と評価の計画

教科名 :

公民

科目名 :

公共

1 単元名 :

国際経済の動向と課題

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自由貿易と保護貿易の違いを理解するとともに、先進国と発展途上国との経済格差の問題が引き起こす意義と課題について理解する。	グローバル化の進展が及ぼす影響と社会の変化について、考察し、表現する。日本が国際社会で果たすべき役割について考察し、表現する。	国際経済の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4)時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【国際経済のしくみ】 貿易と日本経済、国際収支、外国為替のしくみについて多面的・多角的に考察、表現している。		○		【思考・判断・表現】 ・ワークノートへの記述の確認 ・授業課題の確認
2 (1)	【戦後の国際経済体制】 第二次世界大戦後の国際経済、GATTからWTOへの変遷を理解している。	○			【知識・技能】 ・ワークノートの記述の確認
3 (1)	【グローバル化と現代の国際経済】 自由貿易と保護貿易、自由貿易の拡大とグローバル化の進展について理解している。	○			【知識・技能】 ・ワークノートの記述の確認
4 (1)	【地域経済統合】 自由貿易を推進しようとする地域的経済統合、各地の地域的経済統合について考察している。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業課題の確認

指導と評価の計画

教科名 :

数学

科目名 :

数学 I

1 単元名 :

式の計算

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①複雑な式の展開やいろいろな因数分解では、置き換えや式の変形などを理解している。</p> <p>②式の展開と因数分解の相互の関係や乗法と因数分解の公式の意味を理解している。</p>	<p>①数式に対していろいろな見方ができ、乗法公式や因数分解の公式などを目的に応じて処理することができる。</p> <p>②見通しを持って式を展開したり、因数分解することができる。</p>	<p>①式の展開や因数分解に関心をもち、目的に応じて式を変形しようとしている。</p> <p>②いろいろな公式などを利用して、複雑な式を簡単な式に整理しようとしている。</p> <p>③乗法公式や因数分解の公式などを目的に応じて処理しようとし、見通しを持って式を展開したり、因数分解しようとしている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(15) 時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ○整式とその加法・減法 <ul style="list-style-type: none"> ・置き換えや式の変形についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・解答をしながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験(後日) <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験(後日) <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取組みの様子 ・ノート確認
2 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ○整式の乗法 <ul style="list-style-type: none"> ・展開の公式について、基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考えて、ノートに解く。 ・教科書の問題を解き、様々なパターンに慣れる。 ・解答をしながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験(後日) ・確認テスト <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験(後日) ・確認テスト <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取組みの様子 ・ノート確認
3 (6)	<ul style="list-style-type: none"> ○因数分解 <ul style="list-style-type: none"> ・因数分解の公式について、基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・教科書の問題を解き、様々なパターンに慣れる。 ・解答をしながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取組みの様子 ・ノート確認

指導と評価の計画

教科名 :

数学

科目名 :

数学 I

1 単元名 :

実数

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①分数が循環小数で表されることを理解している。 ②有理数と無理数の違い、さらに数を実数まで拡張することの意義を理解している。 ③絶対値の意味を理解している。 ④根号を含む式の加・減・乗・除の計算ができる。また、分母の有理化ができる。	①四則演算を可能にするために数が拡張されてきた過程を考察することができる。 ②分母に根号を含む式について、分母を有理化する方法を考察しようとしている。	①数を実数まで拡張する意義に気付くとともに過程にも関心を持ち調べようとしている。 ②二重根号について調べようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7) 時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	○実数 ・数を実数まで拡張することの意義や数の体系についての理解を深める。 ・分数と小数の関係について理解する。 ・絶対値記号の意味を理解する。 ・解答をしながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	【知識・技能】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト 【思考・判断・表現】 ・課題プリント ・定期試験(後日) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノート確認
2 (4)	○根号を含む式の計算 ・根号を含む式の四則計算の方法を学ぶ。 ・分母に根号を含む式について、分母を有理化する方法を考える。 ・二重根号をはずし、簡単にする。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	【知識・技能】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト 【思考・判断・表現】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト

指導と評価の計画

教科名： 数学

科目名： 数学 I

1 単元名：

1次不等式

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①不等号の意味を理解し、数量の大小関係を式で表すことができる。</p> <p>②不等式の性質を理解して、1次不等式を解くことができる。</p> <p>③絶対値記号を含んだ方程式や不等式を解くことができる。</p> <p>④連立不等式の解の意味について理解することができる。</p>	<p>①不等式の性質をもとにして、1次不等式の解き方を考察することができる。</p> <p>②連立不等式の解を、数直線上に表現することができる。</p> <p>③身近な問題を、1次不等式の問題に帰着させ、解について考察することができる。</p>	<p>①数量の関係を不等式で表し、1次不等式を活用しようとする。</p> <p>②絶対値記号を含んだ方程式や不等式の扱い方を理解し、調べようとする。</p> <p>③具体的な事象の考察に1次不等式を活用しようとする。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(11)時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	<p>○不等号と不等式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不等式とその解の意味を理解し、1次不等式の解法に習熟させ、大小に関する身近な問題の解決に活用できるようにする。 ・解答をしながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。 	○ ○ ○		○ ○ ○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取組みの様子 ・ノート確認
2 (4)	<p>○不等式の性質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不等式の性質をもとにして、不等式の解き方を理解する。 ・1次不等式の解について、数直線と対比したり、いろいろな数値を代入したりして考察する。 ・解答をしながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取組みの様子 ・ノート確認
3 (4)	<p>○1次不等式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次不等式を解く。 ・連立不等式の解を数直線上に表す。 ・数量の関係を1次不等式で表す。 ・解答をしながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。 	○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノート確認 ・確認テスト

指導と評価の計画

教科名 :

数学

科目名 :

数学 I

1 単元名 :

集合と論証

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①集合の特徴に応じて、集合を表したり、ベン図に示したりすることができる。</p> <p>②2つの集合の関係を理解し、記号を用いて表すことができる。</p> <p>③命題について、集合の包含関係と関連付けて理解できる。</p> <p>④必要条件、十分条件などや逆、裏、対偶などの用語や使い方を理解している。</p>	<p>①命題の真偽を、集合の包含関係と結びつけてとらえることができる。</p> <p>②対偶や背理法について理解し、命題を証明するのにこれらを適切に用いることができる。</p>	<p>①必要条件、十分条件など数学的な論理に必要な言葉を適切に使って表現することができる。</p> <p>②ド・モルガンの法則が成り立つことを、図を用いて確かめようとする。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○集合 <ul style="list-style-type: none"> ・集合の2通りの表し方を理解する。 ・部分集合や空集合、共通部分、和集合、補集合について理解する。 ・ド・モルガンの法則が成り立つことを、図を用いて確かめる。 ・解答をしながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/>		<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取組みの様子 ・ノート確認
2 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○命題と条件 <ul style="list-style-type: none"> ・命題の真偽について理解し、偽の場合には反例を示す。 ・必要条件、十分条件および必要十分条件という用語とその意味を理解する。 ・条件の否定や2つ以上の条件の「かつ」「または」について理解する。 ・解答をしながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>		<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノート確認 ・確認テスト
3 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○逆・裏・対偶 <ul style="list-style-type: none"> ・命題の逆、裏、対偶について、考察する。 ・もとの命題とその対偶の真偽が一致することを、具体例を挙げて確認する。 ・対偶や背理法を利用し、間接証明法で命題を証明する。 ・解答をしながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。 		<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取組みの様子 ・ノート確認

指導と評価の計画

教科名 :

数学

科目名 :

数学 I

1 単元名 :

2 次関数とそのグラフ

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①定義域や値域について理解している。</p> <p>②関数$y=ax^2+bx+c$のグラフが、関数$y=ax^2$のグラフを平行移動したものであることを理解している。</p>	<p>①座標平面上で、$y=ax^2$のグラフを平行移動していく過程を作業を通して理解し、グラフをかくことができる。</p> <p>②定義域が限られた2次関数における最大値・最小値は、頂点を考慮して求めることを理解し、関数$y=ax^2+bx+c$を$y=a(x-p)^2+q$の形に変形することができる。</p> <p>③2次関数のグラフの頂点の座標と軸の方程式を求めることができる。</p>	<p>①2次関数$y=ax^2+bx+c$を$y=a(x-p)^2+q$に変形する計算に意欲をもって取り組もうとし、グラフの頂点や軸の方程式について基礎的な知識を身に付けようとしている。</p> <p>②関数関係を変化する2つの量の関係としてとらえ、式やグラフに表そうとしている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(14)時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ○関数とグラフ <ul style="list-style-type: none"> ・関数の定義や$f(x)$について理解する。 ・1次関数の傾きや切片について確認し、グラフをかく。 ・1次関数のグラフを使って、最大値・最小値について考える。 ・解答をしながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>		<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノート確認 ・確認テスト
2 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ○2次関数のグラフ <ul style="list-style-type: none"> ・2次関数のグラフの概形をかく。 ・軸や頂点、上下どちらに凸かの見分け方を理解する。 ・放物線におけるx軸方向、y軸方向の平行移動を理解し、グラフをかく。 ・平方完成の計算を習得する。 ・解答をしながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取組みの様子 ・ノート確認
3 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ○2次関数の最大・最小 <ul style="list-style-type: none"> ・2次関数のグラフより、値域について理解し、最大値や最小値を求める。 ・2次関数を利用して、面積の最小値などを求める。 ・解答をしながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取組みの様子 ・ノート確認
4 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ○2次関数の決定 <ul style="list-style-type: none"> ・与えられた放物線のグラフや条件から、その2次関数の式を求める。 ・通る3点が与えられた2次関数の式を求める際に連立3元1次方程式を解く。 ・解答をしながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノート確認 ・確認テスト

指導と評価の計画

教科名 :

数学

科目名 :

数学 I

1 単元名 :

2 次方程式と 2 次不等式

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1) $y=ax^2+bx+c$ のグラフとx軸との共有点の個数は、Dの符号によって分類されることを理解している。	<p>①$y=ax^2+bx+c$のグラフとx軸との共有点のx座標と2次方程式や2次不等式の解についての考察や、2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係を理解し、2次不等式の解を2次関数のグラフを用いて考察することができる。</p> <p>②$y=ax^2+bx+c$のグラフとx軸との共有点のx座標は、2次方程式の実数解であることを理解し、2次方程式の解の個数や2次不等式の解を求めることができる。</p> <p>③点の個数を$D=b^2-4ac$を計算することにより、その符号で判断できる。</p>	<p>①2次不等式の解の意味を2次関数のグラフとの関係から理解して、2次不等式を解こうとしている。</p> <p>②2次関数のグラフとx軸との位置関係について調べて、2次不等式の解のタイプ分けをしようとしている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(8) 時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2次関数のグラフと2次方程式 <ul style="list-style-type: none"> ・1次関数のグラフと1次方程式の関係性を確認する。 ・2次関数のグラフと2次方程式の関係性を確認する。 ・因数分解や解の公式を利用して、2次方程式を解く。 ・判別式Dを用いて、2次方程式の解の個数を求める。 ・2次関数のグラフとx軸の位置関係を理解し、判別式Dを用いて、条件を求める。 ・解答しながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取組みの様子 ・ノート確認
2 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2次関数のグラフと2次不等式 <ul style="list-style-type: none"> ・1次関数のグラフと1次不等式の関係性を確認する。 ・2次関数のグラフと2次不等式の関係性を確認する。 ・因数分解や解の公式を利用して、2次不等式を解く。 ・グラフの概形を用いて、2次不等式の解を求める。 ・連立2次不等式の解を求める。 ・解答しながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取組みの様子 ・ノート確認

指導と評価の計画

教科名 :

数学

科目名 :

数学 I

1 単元名 :

三角比

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①三角比の表の意味を理解している。 ②三角比の相互関係について理解し、基礎的な知識を身に付けている。	①座標平面上の半円を用いて、鈍角まで拡張した三角比について考察することができ、具体的な事象について三角比を使って考察することができる。 ②三角比の相互関係を用いて、与えられた三角比の値から残りの三角比の値を求めることができ、 30° 45° 60° の三角比を直角三角形の辺の比から求めることができる。 ③鈍角の三角比を鋭角の三角比で表すことができる。	①三角比の相互関係や鈍角の三角比を考えることに関心をもち、鋭角の三角比との関係について考察しようとする。

3 単元の指導と評価の計画

(8) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	<input type="radio"/> 三角比 ・直角三角形を用いて、正弦(sin)、余弦(cos)、正接(tan)の定義について理解する。 ・ 30° 45° 60° の三角比の値を求める。 ・三角比の表から値を読み取り、角の大きさを求める。 ・三角比を利用して、距離や高さ、大きさを求める。 ・解答しながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	【知識・技能】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノート確認
2 (2)	<input type="radio"/> 三角比の性質 ・相互関係の式について理解し、利用して計算する。 ・ $90^\circ - \theta$ の三角比の公式を用いて、 45° 以下の三角比に変換する。 ・解答しながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノート確認 【思考・判断・表現】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト
3 (3)	<input type="radio"/> 三角比の拡張 ・単位円や直角三角形を使って、 180° までの三角比を求める。 ・ $180^\circ - \theta$ の三角比を 90° 以下の三角比の値を用いて求める。 ・相互関係の式について理解し、利用して計算する。 ・解答しながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	【知識・技能】 ・定期試験(後日) ・確認テスト 【思考・判断・表現】 ・定期試験(後日) ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・課題プリント ・授業中の取組みの様子 ・ノート確認

指導と評価の計画

教科名 :

数学

科目名 :

数学 I

1 単元名 :

三角比と図形の計量

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①三角比を用いた平面図形や空間図形の計量に関する知識を身に付けている。	①三角比を用いて、三角形の面積表す過程や空間図形の計量の考察し、三角比や正弦定理・余弦定理などを用いて平面図形や空間図形を計量することができる。 ②正弦定理・余弦定理などを用いて、三角形の残りの要素を求めることができる。	①正弦定理や余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさを調べようとし、三角比を用いて三角形の面積や空間図形の計量に活用しようとする。

3 単元の指導と評価の計画

(11) 時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○正弦定理 ・正弦定理の公式を理解する。 ・正弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさ、外接円の半径を求める。 ・解答しながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。		○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノート確認 【思考・判断・表現】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト
2 (4)	○余弦定理 ・余弦定理の公式を理解する。 ・余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさを求める。 ・正弦定理と余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさを求める。 ・解答しながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。		○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノート確認 【思考・判断・表現】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト
3 (2)	○三角形の面積 ・三角形の面積の公式について理解する。 ・三角形の面積を用いて、内接円の半径を求める。 ・解答しながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。		○ ○ ○	○ ○ ○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノート確認 【思考・判断・表現】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト
4 (3)	○空間図形の計量 ・正弦定理や余弦定理を用いて、空間図形の辺の長さや角の大きさを求める。 ・空間図形における切断面の図の形を理解する。 ・確認テストを行う。	○	○ ○		【知識・技能】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト 【思考・判断・表現】 ・ノート確認 ・確認テスト

指導と評価の計画

教科名 :

数学

科目名 :

数学 I

1 単元名 :

データの整理

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
四分位数や四分位範囲などの用語や意味を理解している。	整理した表、図、値などの意味を理解し、そのデータの特性や法則性を的確にとらえることができ、箱ひげ図を用いてデータの散らばりを表すことができる。	度数分布やヒストグラムをかこうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○度数分布 ・データを読み取り、度数分布表とヒストグラムを書く。 ・度数分布表から相対度数分布表を作る。 ・確認テストを行う。	○ ○	○ ○		【知識・技能】 ・定期試験(後日) ・確認テスト 【思考・判断・表現】 ・定期試験(後日) ・確認テスト
2 (1)	○代表値 ・平均値、最頻値、中央値について理解し、データを並び替えて値を求める。 ・適切なデータの見方について理解する。 ・解答しながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。	○ ○	○ ○ ○		【知識・技能】 ・定期試験(後日) ・確認テスト 【思考・判断・表現】 ・定期試験(後日) ・確認テスト
3 (2)	○四分位数と四分位範囲 ・データから四分位数や四分位範囲を求め、箱ひげ図を書く。 ・箱ひげ図から四分位数や四分位範囲を求める。 ・箱ひげ図やヒストグラムからデータの散らばりの度合いを正しく理解する。 ・解答しながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 ・定期試験(後日) ・確認テスト 【思考・判断・表現】 ・定期試験(後日) ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・課題プリント ・ノート確認

指導と評価の計画

教科名 :

数学

科目名 :

数学 I

1 単元名 :

データの分析

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
仮説検定の考え方を理解して、分散および標準偏差などの用語や散布図および相関係数の意味を理解している。	<p>①整理した表、図、値などの意味を理解し、そのデータの特性や法則性を的確にとらえることができる。</p> <p>②2つの変量の相関係数を求めることや四分位数から、外れ値になり得る値の範囲を求めることができる。</p>	データから適切な代表値を得て、散らばり具合を整理し全体の傾向をつかもうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○分散と標準偏差 <ul style="list-style-type: none"> ・分散と標準偏差について理解し、値を求めることができる。 ・2通りの分散の値の求め方を理解する。 ・解答しながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験(後日) ・確認テスト <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・授業中の取組みの様子 ・ノート確認
2 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○データの相関 <ul style="list-style-type: none"> ・散布図について理解し、データから散布図を書くことができる。 ・散布図から2つのデータの間に正の相関、負の相関、相関はないのいずれか3つに分類する。 ・共分散や相関係数について理解し、値を求めることができる。 ・相関係数と散布図の関係を理解する。 ・確認テストを行う。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験(後日) ・確認テスト <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験(後日) ・確認テスト
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ○データの外れ値 <ul style="list-style-type: none"> ・四分位数を用いて、データの外れ値について理解し、外れ値あるかどうか判断する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験(後日) ・確認テスト <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取組みの様子 ・課題プリント ・ノート確認
4 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ○仮説検定の考え方 <ul style="list-style-type: none"> ・仮説検定について理解し、仮説が正しいか誤りがあるかを判断する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験(後日) ・確認テスト <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取組みの様子 ・課題プリント ・ノート確認

指導と評価の計画

教科名 :

数学

科目名 :

数学A

1 単元名 :

場合の数

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①様々な集合の要素の個数を求めることができる。</p> <p>②場合の数や順列、組合せについての基本的な概念、法則・定理、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けています。</p> <p>③順列や組合せの総数が求められる。</p>	<p>①場合の数の求め方に見通しをもち、場面に応じた式を立てて計算ができる。</p> <p>②順列や組合せの総数を表す記号を用いることのよさを認識できる。</p> <p>③いろいろな組合せの問題に対し、組合せの記号を用いて表し、その総数を求めることができます。</p>	<p>①具体的な事象の考察に集合の要素の考え方を活用しようとしている。</p> <p>②順列や組合せの意味を理解し、公式を導く過程に興味を示す。</p> <p>③積の法則・和の法則を理解し、具体的な場合に応用しようとしている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(11) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ○集合と要素 <ul style="list-style-type: none"> ・集合と要素の表記について理解する。 ・2種類の集合の表し方について理解し、実際に書き換える。 ・部分集合と空集合の概念について理解し、部分集合を列举したり、2つの集合の関係を表す。 ・2つの集合の共通部分、和集合の概念について理解し、具体的な問題で共通部分や和集合の要素を列举する。 ・全体集合と補集合の概念を理解し、具体的な集合で補集合の要素を列举する。 ・ド・モルガンの法則の概念について理解し、問題演習で活用する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組みの様子 ・問題集やプリントの記述内容の確認
2 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○集合の要素の個数 <ul style="list-style-type: none"> ・集合の要素の個数を数えたり、工夫をしたりして求める。 ・和集合の要素の個数の求め方を理解し、実際の集合で求める。 ・補集合の要素の個数の求め方を理解し、実際の集合で求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組みの様子 ・問題集やプリントの記述内容の確認

	<p>○場合の数 • 樹形図を用いて、場合の数の総数を求める。 • 和の法則や積の法則を用いて、場合の数の総数を求めたり、2桁以上の整数の正の約数の個数や総和を求める。 • 演習プリントや問題集を解く。 • 確認テストを行い、振り返りをする。</p>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】 • 課題プリント • 定期試験（後日） 【思考・判断・表現】 • 課題プリント • 定期試験（後日） 【主体的に学習に取り組む態度】 • 授業中の取り組みの様子 • 問題集やプリントの記述内容の確認</p>
3 (2)	<p>○順列 • nPr や $n!$ を立式し、計算する。 • 順列の考え方を利用し、特定の倍数や人や物の並べ方の総数を求める。 • 円順列や重複順列の考え方を理解し、場合の数の総数を求める。 • 演習プリントや問題集を解く。 • 確認テストを行い、振り返りをする。</p>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】 • 課題プリント • 定期試験（後日） 【思考・判断・表現】 • 課題プリント • 定期試験（後日） 【主体的に学習に取り組む態度】 • 授業中の取り組みの様子 • 問題集やプリントの記述内容の確認</p>
4 (2)	<p>○組合せ • nCr を立式し、計算する。 • 組合せの考え方を利用し、人や物の選び方の総数を求める。 • 同じものを含む順列について、階乗と組合せの2通りの考えた方を理解し、並べ方の総数を求める。 • 演習プリントや問題集を解く。 • 確認テストを行い、振り返りをする。</p>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】 • 課題プリント • 定期試験（後日） 【思考・判断・表現】 • 課題プリント • 定期試験（後日） 【主体的に学習に取り組む態度】 • 授業中の取り組みの様子 • 問題集やプリントの記述内容の確認</p>
5 (2)					

指導と評価の計画

教科名 :

数学

科目名 :

数学A

1 単元名 :

確率

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①確率についての概念、定理、用語、記号、試行の独立や条件つき確率の意味を理解している。</p> <p>②簡単な事象の確率を求めたり、その求め方を説明したりすることができる。</p> <p>③反復試行の確率や条件つき確率の計算ができる。</p>	<p>①いろいろな場面に応じて、場合の数や確率の求め方を考えることができる。</p> <p>②起こり得る場合の数について、「同様に確からしい」ことに着目して正確かつ能率的に数えあげる方法を見いだし、考察することができる。</p> <p>③期待値を求め、意思決定に活用することができる。</p>	<p>①確率の考え方のよさを認識して、いろいろな事象の考察に活用しようとしている。</p> <p>②反復試行や条件つき確率の考え方について関心をもつ。</p> <p>③起こり得る場合の数を、もれや重複がないように、見通しをもって、能率的に調べようとしている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(11) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ○事象と確率 <ul style="list-style-type: none"> ・試行と事象について理解し、基本的な確率の問題を解く。 ・和の法則や積の法則、順列、組合せを利用して、確率を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組みの様子 ・問題集やプリントの記述内容の確認
2 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○確率の基本性質 <ul style="list-style-type: none"> ・2つの事象について、積事象や和事象、排反事象を理解する。 ・確率の基本性質を理解し、利用して様々な確率を求める。 ・余事象の考え方を理解し、「○○でない」確率を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組みの様子 ・問題集やプリントの記述内容の確認
3 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○独立な試行と確率 <ul style="list-style-type: none"> ・独立な試行のについて理解し、確率を求める。 ・反復試行の考え方について理解し、さいころや硬貨の問題を解く。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組みの様子 ・問題集やプリントの記述内容の確認

4 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○条件つき確率と乗法定理 <ul style="list-style-type: none"> ・条件つき確率について理解し、問題を解く。 ・確率の乗法定理について理解し、2つの事象が起こる確率を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組みの様子 ・問題集やプリントの記述内容の確認 	
5 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○期待値 <ul style="list-style-type: none"> ・期待値について理解し、さいころや硬貨、くじについての期待値を求める。 ・期待値を利用して、確率を利用したゲームの有利、不利を判断することができる。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組みの様子 ・問題集やプリントの記述内容の確認 	

指導と評価の計画

教科名 :

数学

科目名 :

数学A

1 単元名 :

三角形の性質

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①三角形についてのいろいろな性質について理解し、線分の比や長さを求めることができる。</p> <p>②重心、内心、外心の存在や、それぞれに関わる性質について理解し、角の大きさや線分の長さを求めることができる。</p> <p>③メネラウスの定理、チェバの定理について理解し、それらを利用して、線分の比や長さを求めることができる。</p>	<p>①三角形の角の二等分線と線分の比の性質について、その証明を通して考察することができる。</p> <p>②重心、内心、外心などの存在や性質について、その証明を通して考察することができる。</p> <p>③メネラウスの定理、チェバの定理について、その証明を通して考察することができる。</p>	<p>①三角形のさまざまな性質について、いろいろな方法で調べようとしている。</p> <p>②平面図形の性質に興味・関心をもち、三角形の性質を利用しようとしている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○三角形と線分の比 <ul style="list-style-type: none"> ・中学生のときに学習した平行線と線分の比について復習する。 ・線分の内分や外分について理解し、図示する。 ・角の二等分線と線分の比について理解し、利用して線分の比や長さを求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組みの様子 ・問題集やプリントの記述内容の確認
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ○三角形の重心・内心・外心 <ul style="list-style-type: none"> ・中点連結定理や三角形の重心について理解し、線分の比や長さを求める。 ・三角形の内心や内接円について理解し、角の大きさを求める。 ・三角形の外心や外接円について理解し、角の大きさを求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組みの様子 ・問題集やプリントの記述内容の確認
3 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ○メネラウスの定理とチェバの定理 <ul style="list-style-type: none"> ・メネラウスの定理とチェバの定理について理解し、線分の比や長さを求める。 ・メネラウスの定理とチェバの定理を使い分けて、線分の比や三角形の面積比を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組みの様子 ・問題集やプリントの記述内容の確認

指導と評価の計画

教科名 :

数学

科目名 :

数学A

1 単元名 :

円の性質

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①円のもついろいろな性質について理解している。 ②2つの円の位置関係や共通接線について理解し、2円の半径と中心間の距離との関係に着目して分類し、線分の長さを求めることができる。	円についてのさまざまな性質を用いて、図形の問題を処理し、解決することができる。	円の性質について興味・関心をもち、それらの性質について調べようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(8) 時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○円に内接する四角形 ・中学で学習した円周角の定理を用いて、円に内接する四角形の性質を理解し、活用する。 ・円周角の定理の逆を用いて、四角形が円に内接するかどうか判断する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 ・課題プリント ・定期試験（後日） 【思考・判断・表現】 ・課題プリント ・定期試験（後日） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組みの様子 ・問題集やプリントの記述内容の確認
2 (2)	○円の接線と弦のつくる角 ・円の接線の性質を用いて、円が内接する三角形の辺の長さを求める。 ・円の接線と弦のつくる角の性質を理解し、指定された角度を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 ・課題プリント ・定期試験（後日） 【思考・判断・表現】 ・課題プリント ・定期試験（後日） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組みの様子 ・問題集やプリントの記述内容の確認
3 (2)	○方べきの定理 ・方べきの定理を理解し、利用して線分の長さを求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 ・課題プリント ・定期試験（後日） 【思考・判断・表現】 ・課題プリント ・定期試験（後日） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組みの様子 ・問題集やプリントの記述内容の確認

4 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2つの円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2つの円の位置関係について、2つの円の半径と中心間の距離を用いて5種類のどれに分類されるか判断する。 ・ 2つの円の位置関係について、共通接線の本数を用いて5種類のどれに分類されるか判断する。 ・ 演習プリントや問題集を解く。 ・ 確認テストを行い、振り返りをする。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題プリント ・ 定期試験（後日） 【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題プリント ・ 定期試験（後日） 【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中の取り組みの様子 ・ 問題集やプリントの記述内容の確認

指導と評価の計画

教科名 :

数学

科目名 :

数学A

1 単元名 :

作図

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
作図にはさまざまな平面図形の性質が用いられていることを認識し、作図の定義について理解している。	<p>①それぞれの作図の方法で、目的の図形がかける理由を考えることができる。</p> <p>②作図の問題を、さまざまな平面図形の性質を用いながら見通しをもって考察することができる。</p>	<p>①いろいろな図形の作図方法について考えようしたり、証明しようとしている。</p> <p>②長さ1の線分を用いて、いろいろな長さの線分を作図できることに关心をもち、深く調べようとしている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(2) 時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/>作図 <ul style="list-style-type: none"> ・中学校までに学習したコンパスや定規を利用した作図方法を確認する。 ・線分を内分する点や外分する点やの2つの線分を掛け長さの線分や割った長さの線分の作図を行う。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・振り返りをする。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組みの様子 ・問題集やプリントの記述内容の確認

指導と評価の計画

教科名 :

数学

科目名 :

数学A

1 単元名 :

空間図形

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①直線と平面の決定条件や位置関係について理解している。</p> <p>②空間図形について、直線や平面の位置関係を答えたり、2直線や2平面のなす角を求めることができる。</p> <p>③正多面体の定義と種類やオイラーの多面体定理について知っている。</p>	<p>①直線や平面を決定する条件について、考察することができる。</p> <p>②空間図形の問題を、平面図形や空間図形の性質を用いて処理し、解決することができる。</p>	<p>①空間図形の問題を、平面図形や空間図形の性質を用いて解決しようとしている。</p> <p>②空間図形について、直線や平面の位置関係やなす角について、進んで調べようとしている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ○空間における直線と平面 <ul style="list-style-type: none"> ・空間における2直線の3種類の位置関係について理解し、ねじれの位置にある線分を答える。また、2直線のなす角を求める。 ・2平面の2種類の位置関係について理解し、2平面のなす角を求める。 ・直線と平面の3つの関係について理解し、三垂線の定理を導く。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組みの様子 ・問題集やプリントの記述内容の確認
2 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○多面体 <ul style="list-style-type: none"> ・5種類の正多面体について理解し、頂点、辺、面の数を求め、オイラーの多面体定理が成り立つことを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組みの様子 ・問題集やプリントの記述内容の確認

指導と評価の計画

教科名 :

数学

科目名 :

数学A

1 単元名 :

数と人間の活動

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①素数、約数と倍数の意味や余りによる整数の分類の方法、ユークリッドの互除法の原理について理解している。</p> <p>②素因数分解を活用して、約数の個数を求めたり、最大公約数や最小公倍数を求めることができる。</p> <p>③互除法を用いて、2数の最大公約数を求めることができる。</p>	<p>①素数や約数についての考え方や素因数分解を活用して、整数の性質を考察することができる。</p> <p>②除法における商と余りを活用して、整数の約数を考察することができます。</p>	数と人間の活動のかかわりについて関心を持ち、調べようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ○数の歴史と記数法 <ul style="list-style-type: none"> ・古代エジプト文字やローマ数字の記数法を理解し、現代の10進法で表す。 ・10進数の位取り記数法や0のはたす役割について理解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組みの様子 ・問題集やプリントの記述内容の確認
2 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ○n進法 <ul style="list-style-type: none"> ・2進法で表された数を10進法で表したり、10進法で表された数を2進法で表したりする。 ・2以外の進法で表された数を10進法で表したり、10進法で表された数を2以外の進法で表したりする。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組みの様子 ・問題集やプリントの記述内容の確認
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ○約数と倍数 <ul style="list-style-type: none"> ・約数や倍数を求める。 ・倍数の判定を行う。 ・素因数分解の計算をする。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組みの様子 ・問題集やプリントの記述内容の確認

	○最大公約数と最小公倍数 ・素因数分解を利用して、2つの数や3つの数の最大公約数や最小公倍数を求める。 ・最大公約数や最小公倍数を利用して、文章題を解く。 ・2つの数が互いに素である関係を正しく理解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	【知識・技能】 ・課題プリント ・定期試験（後日） 【思考・判断・表現】 ・課題プリント ・定期試験（後日） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組みの様子 ・問題集やプリントの記述内容の確認
4 (1)	○整数の割り算と商および余り ・整数の割り算 $a \div b$ における商qと余りrの関係式 $a=b\times q+r$ の表記を理解する。 ・カレンダーなどを利用し、余りによる分類を理解し、証明問題などに活用する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	【知識・技能】 ・課題プリント ・定期試験（後日） 【思考・判断・表現】 ・課題プリント ・定期試験（後日） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組みの様子 ・問題集やプリントの記述内容の確認
5 (1)	○ユークリッドの互除法 ・ユークリッドの互除法の考え方を理解し、利用して2つの数の最大公約数を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	【知識・技能】 ・課題プリント ・定期試験（後日） 【思考・判断・表現】 ・課題プリント ・定期試験（後日） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組みの様子 ・問題集やプリントの記述内容の確認
6 (1)	○不定方程式 ・グラフを用いて、不定方程式の整数解の意味と無数に存在することを理解する。 ・1次不定方程式において、1組の整数解を見つけ、整数解をすべて求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	【知識・技能】 ・課題プリント ・定期試験（後日） 【思考・判断・表現】 ・課題プリント ・定期試験（後日） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組みの様子 ・問題集やプリントの記述内容の確認
7 (2)	○不定方程式 ・グラフを用いて、不定方程式の整数解の意味と無数に存在することを理解する。 ・1次不定方程式において、1組の整数解を見つけ、整数解をすべて求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	【知識・技能】 ・課題プリント ・定期試験（後日） 【思考・判断・表現】 ・課題プリント ・定期試験（後日） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組みの様子 ・問題集やプリントの記述内容の確認

指導と評価の計画

教科名 :

数学

科目名 :

数学A

1 単元名 :

図形と人間の活動

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①相似や三平方の定理の性質を理解し、適切に用いることができる。</p> <p>②空間の点の位置を表す座標は、平面上の点の位置を表す座標を自然に拡張したものであることを理解している。</p>	<p>①座標の考え方について、平面から空間への拡張などから、さまざまな表し方について考察することができる。</p> <p>②相似比や三平方の定理を用いて、測量の問題を考えることができる。</p>	図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて関心を持つ。

3 単元の指導と評価の計画

(3) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ○相似を利用した測量 <ul style="list-style-type: none"> ・相似を利用して、建造物の高さなどの測量を行う。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・振り返りをする。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組みの様子 ・問題集やプリントの記述内容の確認
2 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ○三平方の定理の利用 <ul style="list-style-type: none"> ・三平方の定理を利用して、建造物の高さなどの測量を行う。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・振り返りをする。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組みの様子 ・問題集やプリントの記述内容の確認
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ○座標の考え方 <ul style="list-style-type: none"> ・直線、平面、空間の座標において、点の軸や平面についての対象移動を行う。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・振り返りをする。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組みの様子 ・問題集やプリントの記述内容の確認

指導と評価の計画

教科名 :

数学

科目名 :

数学A

1 単元名 :

遊びの中の数学

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
論理的に考えることのよさや、数学と文化との関わりを理解している。	<p>①パズルなどに数学的な要素を見いだし、目的に応じて数学を活用して考察できる。</p> <p>②数理的なゲームやパズルなどに関して、自分の見いだした方法や考えをその根拠が的確に他者に伝わるよう、分かりやすく表現できる。</p>	教科書の題材に似たような問題がないか調べ、人間の活動に数学がどのように関わっているか調べようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(3)時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	<p>○パズルとゲームの数学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パズルとゲームにおいて、数学的な性質がどのように利用されているかを考察する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・振り返りをする。 	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験（後日） <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組みの様子 ・問題集やプリントの記述内容の確認

指導と評価の計画

教科名： 理科

科目名： 化学基礎

1 単元名：

化学と人間生活

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人間生活で関わる物質や化学について、化学の特徴、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	化学や物質について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。	化学や物質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(2) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○化学とは何だろう ・人間生活の中の化学についての基本事項を学び、課題に取り組む。 ・確認テストを行う。		○	○	【思考・判断・表現】 ・小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認
2 (1)	○探究の取り組み ・化学とその役割についての基本事項を学び、課題に取り組む。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。	○			【知識・技能】 ・実験 ・ワークシートの記述

指導と評価の計画

教科名： 理科

科目名： 化学基礎

1 単元名：

物質の成分と構成元素

2 単元の目標と評価標準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
物質を構成している粒子について、原子の構造、電子配置と周期表の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作を身に付けていく。	物質の構成粒子について、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	物質を構成する粒子に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○物質の成分 ・物質の成分についての基本事項を学ぶ。 ・基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・小テスト	○		○	【知識・技能】 ・小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認
2 (1)	○物質の構成元素 ・物質の構成元素についての基本事項を学ぶ。 ・基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。	○	○		【知識・技能】 ・小テスト 【思考・判断・表現】 ・課題提出
3 (2)	○状態変化と熱運動 ・状態変化と熱運動についての基本事項を学ぶ。 ・基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・実験を行う。	○		○	【知識・技能】 ・実験 ・ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態度】 ・課題提出

指導と評価の計画

教科名： 理科

科目名： 化学基礎

1 単元名：

原子の構造と元素の周期表

2 単元の目標と評価標準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
物質を構成している粒子について、原子の構造、電子配置と周期表の基本的な概念や原理・法則などを理解している。	物質の構成粒子について、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	物質を構成する粒子に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(5) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○原子の構造 ・原子の構造についての基本事項を学ぶ。 ・基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。		○	○	【思考・判断・表現】 提出課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題の確認
2 (3)	○元素の相互関係 ・元素の相互関係についての基本事項を学ぶ。 ・基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。	○			【知識・技能】 小テスト

指導と評価の計画

教科名： 理科

科目名： 化学基礎

1 単元名：

物質と化学結合

2 単元の目標と評価標準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
物質と化学結合について、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質と化学結合について、観察や実験などを通して探究し、物質と化学結合における規則性や関係性を見いだして表現している。	物質の化学結合に主体的に関わり、物体や結晶に対する見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(11) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○イオン ・イオンについての基本事項を学ぶ。 ・基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。	○		○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・ワークシートの記述内容の確認 【知識・技能】 ・小テスト
2 (2)	○イオン結合と組成式 ・静電気力（クーロン力）について説明し、結び付くことを理解する。	○		○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・ワークシートの記述内容の確認 【知識・技能】 ・ワークシート等の記述内容の確認
3 (3)	○組成式の表し方 ・イオンの価数や組成式のつくり方を理解し、イオン結合からなる物質を組成式で表すことができる。	○	○		【思考・判断・表現】 ・ワークシート、配信課題等の記述内容の確認 【知識・技能】 ・小テスト
4 (1)	○イオン結晶とその性質 ・結晶の性質を一つ一つ確認し、ほかの物質との違いを理解する。	○		○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・ワークシートの記述内容の確認 【知識・技能】 ・ワークシート等の記述内容の確認
5 (3)	○共有結合の形成 ・価電子を共有することで、貴ガスの電子配置と似た、安定した形状になること理解する。	○		○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・ワークシートの記述内容の確認 【知識・技能】 ・ワークシート等の記述内容の確認

指導と評価の計画

教科名 :

理科

科目名 :

化学基礎

1 単元名 :

物質量と化学反応式

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
物質量と化学反応式について、物質量、化学反応式の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質量と化学反応式について、計算などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。	物質量と化学反応式の学習に対して主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(12) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○原子量・分子量と式量 ・原子の相対質量の値を利用し、分子量や式量を求める。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【主体的に学習に取り組む態度】 ・ワークシート等の記述内容の確認 【思考・判断・表現】 ・配信課題
2 (2)	○物質量 ・物質量の単位である「mol」を使い、個数や質量、体積を変換する。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【主体的に学習に取り組む態度】 ・ワークシート等の記述内容の確認 ・小テスト 【思考・判断・表現】 ・配信課題
3 (3)	○溶液の濃度 ・物質量と体積を計算し、溶液の濃度を理解する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		【知識・技能】 ・ワークシート等の記述内容の確認 ・小テスト 【思考・判断・表現】 ・配信課題
4 (2)	○化学変化と化学反応式 ・適切な係数を付け、化学変化を正しい化学反応式で表す。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		【知識・技能】 ・ワークシートの記述内容の確認 【思考・判断・表現】 ・小テスト
5 (3)	○化学反応の量的関係 ・化学反応式の係数を利用して、物質量を算出する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		【知識・技能】 ・ワークシート等の記述内容の確認 【思考・判断・表現】 ・小テスト
6 (1)	○化学変化における諸法則 ・質量保存の法則や定比例の法則などを理解する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		【知識・技能】 ・小テスト 【思考・判断・表現】 ・ワークシート等の記述内容の確認

指導と評価の計画

教科名 :

理科

科目名 :

化学基礎

1 単元名 :

酸と塩基の反応

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
酸と塩基について、酸性や塩基性といった性質や、酸と塩基の定義などを理解しているとともに、実験などに関する基本操作や結果から得られる考察などの技能を身に付けている。	酸と塩基について、実験などを通して探究し、物質の変化における酸と塩基の役割や反応時の関係性を見いだして表現している。	酸・塩基と化学反応式の学習に対して主体的に関わり、関連性を見出したり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(12) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	○酸と塩基 ・酸と塩基の定義を理解し、物質を分類する。	○		○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・ワークシート等の記述内容の確認 【知識・技能】 ・配信課題
2 (4)	○水素イオン濃度 ・水素イオン濃度を計算し、溶液のpHを求めることができる。	○	○		【知識・技能】 ・ワークシート等の記述内容の確認 【思考・判断・表現】 ・小テスト
3 (3)	○中和と塩 ・溶液の濃度から、酸と塩基を中和する。	○		○	【知識・技能】 ・ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態度】 ・小テスト
4 (2)	○中和滴定 ・中和滴定の実験を通して、溶液の中和を理解する。	○		○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・ワークシートの記述内容の確認 【知識・技能】 ・配信課題

指導と評価の計画

教科名 :

理科

科目名 :

化学基礎

1 単元名 :

酸化還元反応

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
化学反応で、酸化する物質と還元する物質の基本的な役割を理解している。	酸化と還元に関する観察、実験などを通して探究し、酸化数の増減における規則性を見出して表現している。	酸化還元反応に主体的に関わり、実生活でどのように活用されているかなど、科学的探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(14) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	○酸化と還元 ・酸化と還元の定義を理解する。 ・酸化数の求め方を理解し、活用する。		○	○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・ワークシートの記述内容の確認 【思考・判断・表現】 ・配信課題 ・定期試験
2 (4)	○酸化剤と還元剤の反応 ・酸化剤と還元剤の定義を理解し、物質を分類する。	○			【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験
3 (6)	○酸化還元の量的関係 ・酸化還元反応の量的関係を理解する。 ・酸化還元滴定の実験を通して、酸化還元反応を理解する。		○	○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・ワークシートの記述内容の確認 【思考・判断・表現】 ・配信課題 ・小テスト ・定期試験

指導と評価の計画

教科名：保健体育

科目名：体育

1 単元名：

体つくり運動

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができる。	自己や仲間の課題を見出し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	体つくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとするなど、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとすると、話合いで貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができる。

3 単元の指導と評価の計画

(7) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	・体ほぐしの運動 誰もが簡単に取り組むことができる運動、仲間と協力して楽しくできる運動、心や体が弾むような軽快な運動			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・提出課題の確認
2 (3)	・実生活に生かす運動の計画 のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行う			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：保健体育

科目名：体育

1 単元名：サッカー

2 単元の目標と評価標準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントについて具体例を挙げている。</p> <p>②ゴールの枠内にシュートをコントロールすることができる。</p> <p>③見方が操作しやすいパスを送ることができる。</p>	<p>選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。</p>	<p>①健康・安全を確保しながら主体的に行動しようとしている。</p> <p>②球技の学習に自主的に取り組もうとしている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(7) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・オリエンテーション ・ルール説明			○	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み ・提出課題の確認
2 (2)	・ドリブルやパスなどのボール操作 ・ゴールの枠内にコントロールしてシュートを打ったり、味方が操作しやすいパスを送ったり、相手から奪われず次のプレイがしやすいようにボールをキープしたりする		○	○	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出課題の確認 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み
3 (2)	・仲間と連携してゴール前の空間を使ったり、ゴール前の空間を作りだしたりして攻防を展開する	○			<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技能テスト ・知識テスト
4 (2)	・仲間と連携した動きによってゴール前に空間を作りだしてゴール前へと侵入する攻防を中心に行きながら自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦を立てて、得失点の攻防を重視した練習やゲームを展開		○	○	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出課題の確認 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み

指導と評価の計画

教科名：保健体育

科目名：体育

1 単元名：

卓球

2 単元の目標と評価標準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身につけるためのポイントがあることについて具体例をあげている。</p> <p>②ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。</p>	<p>①合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。</p>	<p>①互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合おうとしている。</p> <p>②健康・安全を確保しようとしている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(7) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・オリエンテーション ・ルール説明			○	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み ・提出課題の確認
2 (2)	・ボール操作 ・ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てたりする		○	○	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出課題の確認 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み
3 (2)	・味方や相手側のコートのねらった場所にボールをつないだり打ち返したりする	○			<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技能テスト ・知識テスト
4 (2)	・相手の陣形や返球によって生じる相手側コートの空いた場所をめぐる攻防を展開するといったゲーム		○	○	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出課題の確認 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み

指導と評価の計画

教科名：保健体育

科目名：体育

1 単元名：

ハンドボール

2 単元の目標と評価標準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントについて具体例を挙げている。</p> <p>②ゴールの枠内にシュートをコントロールすることができる。</p> <p>③見方が操作しやすいパスを送ることができる。</p>	<p>選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。</p>	<p>①健康・安全を確保しながら主体的に行動しようとしている。</p> <p>②球技の学習に自主的に取り組もうとしている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(8) 時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・オリエンテーション ・ルール説明			○	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み ・提出課題の確認
2 (2)	・ドリブルやパスなどのボール操作 ・ゴールの枠内にコントロールしてシュートを打ったり、味方が操作しやすいパスを送ったり、相手から奪われず次のプレイがしやすいようにボールをキープしたりする		○	○	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出課題の確認 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み
3 (2)	・仲間と連携してゴール前の空間を使ったり、ゴール前の空間を作りだしたりして攻防を展開する	○			<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技能テスト ・知識テスト
4 (3)	・仲間と連携した動きによってゴール前に空間を作りだしてゴール前へと侵入する攻防を中心に行きながら自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦を立て、得失点の攻防を重視した練習やゲームを展開		○	○	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出課題の確認 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み

指導と評価の計画

教科名：保健体育

科目名：体育

1 単元名：

バドミントン

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身につけるためのポイントがあることについて具体例をあげている。</p> <p>②ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。</p>	<p>①合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。</p>	<p>①互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合おうとしている。</p> <p>②健康・安全を確保しようとしている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・オリエンテーション ・ルール説明			○	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み ・提出課題の確認
2 (1)	・ラケット操作 ・ポジションの役割に応じたラケットの操作によって、仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てたりする		○	○	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出課題の確認 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み
3 (2)	・味方や相手側のコートのねらった場所にシャトルをついだり打ち返したりする	○			<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技能テスト ・知識テスト
4 (2)	・相手の陣形や返球によって生じる相手側コートの空いた場所をめぐる攻防を展開するといったゲーム		○	○	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出課題の確認 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み

指導と評価の計画

教科名：保健体育

科目名：体育

1 単元名：

バレーボール

2 単元の目標と評価標準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身につけるためのポイントがあることについて具体例をあげている。</p> <p>②ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。</p>	<p>①合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。</p>	<p>①互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合おうとしている。</p> <p>②健康・安全を確保しようとしている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・オリエンテーション ・ルール説明			○	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み ・提出課題の確認
2 (1)	・ボール操作 ・ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てたりする		○	○	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出課題の確認 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み
3 (2)	・味方や相手側のコートのねらった場所にボールをつないだり打ち返したりする	○			<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技能テスト ・知識テスト
4 (2)	・相手の陣形や返球によって生じる相手側コートの空いた場所をめぐる攻防を展開するといったゲーム		○	○	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出課題の確認 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み

指導と評価の計画

教科名：保健体育

科目名：体育

1 単元名：

ソフトボール

2 単元の目標と評価標準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①体の軸を安定させてバットを振り抜くことができる。 ②タイミングを合わせてボールを捉えることができる。 ③捕球場所へ最短距離で移動して、相手の打ったボールを取ることができる。	①合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ②作戦などの話し合いの場面で、合意形成するための関わり方を見つけ、仲間に伝えている。	①互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合おうとしている。 ②健康・安全を確保しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・オリエンテーション ・ルール説明			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・提出課題の確認
2 (2)	・ボール操作 ・移動しながらボールを捕ること、一連の動きでねらった方向へステップを踏みながらボールを投げること、仲間からの送球を壘上でタイミングよく受けたり、仲間の送球を中継したりする		○	○	【思考・判断・表現】 ・提出課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み
3 (2)	・身体の軸が安定した一連のスイング動作で、タイミングを合わせてボールを打ち返す	○			【知識・技能】 ・技能テスト ・知識テスト
4 (2)	・打撃により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防を展開する		○	○	【思考・判断・表現】 ・提出課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み

指導と評価の計画

教科名：保健体育

科目名：体育

1 単元名：

ダンス

2 単元の目標と評価標準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①はじめとおわりを付け、ひとまとまりの作品にまとめることができる。 ②緩急強弱のある動きや空間の使い方や場面の転換などで、変化を付けたひと流れの動きにすることができる。</p>	<p>①それぞれのダンスに応じて、表したいテーマにふさわしいイメージや、踊りの特徴を捉えた表現の仕方を見つけている。 ②選択した踊りの特徴に合わせて、よい動きや表現と自己や仲間の動きや表現を比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。</p>	<p>①ダンスの学習に自主的に取り組もうとしている。 ②一人ひとりの違いに応じた表現や交流、発表の仕方などを大切にしようとしている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・オリエンテーション ・ダンス種類説明			○	<p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・提出課題の確認</p>
2 (1)	体幹部でリズムをとって全身で自由に弾んで踊ることを発展させ、体の各部位の動きをずらしたり連動させたりして踊ることや、ダイナミックなアクセントを加えたり違うリズムを取り入れたりして、変化を付けて連続して踊る		○	○	<p>【思考・判断・表現】 ・提出課題の確認</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み</p>
3 (2)	・ロックやヒップホップなどのリズムに合った曲を、グループごとに選曲させる。一人一人の能力を生かす動きや相手と対応する動きなどを取り入れながら、仲間と関わりをもって踊る	○			<p>【知識・技能】 ・技能テスト ・知識テスト</p>
4 (2)	・仲間やグループ間で、簡単な作品を見せ合う発表		○	○	<p>【思考・判断・表現】 ・提出課題の確認</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み</p>

指導と評価の計画

教科名：保健体育

科目名：体育

1 単元名：体育理論

2 単元の目標と評価標準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①スポーツは、人類の歴史とともに世界各地で日常の遊びや生活などから生まれてきたこと、近代になって、スポーツは娯楽から競技に変化し、一般の人びとに広がつていったことについて具体例を挙げている。	①スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実各科目の目標及び内容や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を伝えている。	①スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (6)	• スポーツの発祥と発展	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<p>【知識・技能】 ・知識テスト</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・提出課題の確認</p>

指導と評価の計画

教科名：保健体育

科目名：保健

1 単元名：

現代社会と健康

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けています。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他人に伝えています。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活についての学習に取り組もうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(23) 時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (11)	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の考え方 ・生活習慣病とがん ・運動、食事、休養と健康 ・喫煙・飲酒と健康 ・期末試験 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み ・提出課題の確認 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出課題の確認 <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト
2 (12)	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用 ・精神疾患 ・感染症 ・意思決定、行動選択 ・期末試験 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み ・提出課題の確認 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出課題の確認 <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト

指導と評価の計画

教科名：保健体育

科目名：保健

1 単元名：

安全な社会生活

2 単元の目標と評価標準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けています。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他人に伝えています。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活についての学習に取り組もうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (7)	・交通安全 ・応急手当 ・期末試験	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み ・提出課題の確認 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出課題の確認 <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト

指導と評価の計画

教科名：

芸術

科目名：

音楽 I

1. 題材名：

A表現（1）歌唱 歌声を響かせる
B鑑賞（1）鑑賞 [共通事項]（1）

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 【知識・歌唱イ（イ）】</p> <p>創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱で表している。 【技能・歌唱ウ（ウ）】</p>	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。</p>	<p>主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

3. 題材の指導と評価の計画

(11)時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1(3)	単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 歌唱に必要な用語、記号について学習する。			<input checked="" type="radio"/>	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りシート 【知識・技能】 ワーク
2(3)	「校歌」「翼をください」を鑑賞し、曲の特徴を感じる。 学習した用語、記号について確認する。	<input checked="" type="radio"/> 知	<input checked="" type="radio"/>		【思考・判断・表現】 振り返りシート 【知識・技能】 確認テスト
	リズムや旋律を感じながら歌唱する。	<input checked="" type="radio"/> 技			【知識・技能】 活動観察
3(3)	歌詞の内容について考察し、それをどのように表現するか意識する。		<input checked="" type="radio"/>		【思考・判断・表現】 振り返りシート
4(2)	それぞれの特徴を意識しながら表現し、他者と比較する。 ほかの文化、歴史をもった歌唱曲を鑑賞し、音楽の多様性を感じ取る。	<input checked="" type="radio"/> 知技	<input checked="" type="radio"/>		【知識・技能】 グループ別発表 【思考・判断・表現】 グループ別発表 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りシート

指導と評価の計画

教科名：

芸術

科目名：

音楽 I

1. 題材名：

ヴァイオリンにチャレンジ
A表現（2）器楽 B鑑賞（1）鑑賞 [共通事項]（1）

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ヴァイオリンに関する知識を身に付け、文化や歴史的背景との関わりを理解している。 【知識・器楽イ（ア）】	ヴァイオリンの特徴を捉えてヴァイオリンの演奏を鑑賞し、楽器や曲の特徴を生かした表現ができるよう、個人で試行錯誤したり、他者と意見を交換しながら演奏の学習活動に取り組んでいる。	ヴァイオリンの音色や弦楽器の特徴に興味を持ち、主体的・協働的にヴァイオリンの演奏及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
楽譜の読み方を理解し、ヴァイオリンの演奏に必要な運指やボウイング、奏法、楽器の構え方などの基礎的な技能を身に付け、特徴を活かして演奏している。 【技能・器楽ウ（ア）】		

3. 題材の指導と評価の計画

(11)時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1(1)	単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ヴァイオリンの歴史、楽器の特徴、各部の名称を知り、ヴァイオリンの演奏を鑑賞する。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
2(3)	楽器の扱い方、構え方について知る。 弦の押さえ方や運指、ボウイングについて学習し、練習しながらヴァイオリンの奏法を身に付ける。	○ 知			【知識・技能】 ワークシート
		○ 技			【知識・技能】 活動観察
3(6)	「きらきら星」の練習に取り組む。個人練習をし、ペアでアドバイスをし合う。 学習した用語、記号についての確認テストを受ける。		○		【思考・判断・表現】 活動観察
			○		【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
		○ 知			【知識・技能】 確認テスト
4(1)	実技試験を受け、今まで学んだ知識や奏法などを演奏に活かすことができているか確認する。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
		○ 技			【知識・技能】 実技試験

指導と評価の計画

教科名：

芸術

科目名：

音楽 I

1. 題材名：

ボディー・パーカッション 「Plymouth Rock」
 A表現（2）器楽 B鑑賞（1）鑑賞 [共通事項]（1）

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
拍子やリズムに関する楽典の知識を身に付け、拍子やリズムと曲想との関わりについて理解して演奏している。 【知識・器楽イ（イ）】	曲の特徴を生かした表現ができるよう、個人で試行錯誤したり、グループで意見を交換しながら、他者と協働してボディー・パーカッションの活動に取り組んでいる。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
ボディー・パーカッションの奏法などの技能を身に付け、パートごとの役割を理解しながら、他者との調和を意識して演奏している。 【技能・器楽ウ（イ）】		

3. 題材の指導と評価の計画

(10)時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1(1)	単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。			<input checked="" type="radio"/>	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りシート
	ボディー・パーカッションに必要な用語、記号について学習する。	<input checked="" type="radio"/> 知			【知識・技能】 ワークシート
2(4)	「Plymouth Rock」の演奏を鑑賞し、曲の特徴を感じる。		<input checked="" type="radio"/>		【思考・判断・表現】 振り返りシート
	学習した用語、記号について確認する。 個人練習をする。	<input checked="" type="radio"/> 知			【知識・技能】 確認テスト
3(4)	グループ発表に向けて練習する。	<input checked="" type="radio"/> 技			【知識・技能】 活動観察
			<input checked="" type="radio"/>		【思考・判断・表現】 ワークシート
4(1)	グループごとに演奏を発表し、他のグループの演奏を鑑賞し、自分の活動を振り返る。	<input checked="" type="radio"/> 知技			【知識・技能】 グループ別発表
			<input checked="" type="radio"/>		【思考・判断・表現】 グループ別発表
				<input checked="" type="radio"/>	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りシート

指導と評価の計画

教科名：

芸術

科目名：

音楽 I

1. 題材名：

ハーモニーを感じて歌おう
A表現（1）歌唱 B鑑賞（1）鑑賞 [共通事項]（1）

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
曲想と音楽の構造や歌詞との関わり、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 【知識・歌唱イ（イ）】	音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	各声部の役割やテクスチュアの変化を考えて合唱表現を創意工夫することに关心をもち、主体的・協働的に歌唱の表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方、ハーモニーを意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 【技能・歌唱ウ（ウ）】		

3. 題材の指導と評価の計画

(11)時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1(1)	単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 歌唱に必要な用語、記号について学習する。			○ 知	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート 【知識・技能】 ワークシート
2(3)	「翼をください」「少年時代」の下パートの音取りをする。 「翼をください」「少年時代」について、上下パートに分かれて歌唱する。			○ 技	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート 【知識・技能】 活動観察
3(4)	「未来へ」の上下パートの音取りをする。 学習した用語、記号について確認する。 「未来へ」について、上下パートに分かれて歌唱する。	○ 知		○ 技	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート 【知識・技能】 確認テスト 【知識・技能】 活動観察
4(2)	「未来へ」の歌詞の内容について考察し、それをどのように表現するか意識する。			○	【思考・判断・表現】 ワークシート
5(1)	実技試験を受け、今まで学んだ知識や技能を生かして歌唱することができているか確認する。	○ 技		○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート 【知識・技能】 実技試験

指導と評価の計画

教科名：

芸術

科目名：

音楽 I

1. 題材名：

オーケストラを聴こう
B 鑑賞 (1) 鑑賞 [共通事項] (1)

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識：曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解を深めている。 【知識・鑑賞イ（ア）】	オーケストラの楽器のそれぞれの音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽のよさや美しさを深く味わってオーケストラの楽曲を鑑賞している。	オーケストラの楽器や、作曲家の生きた時代とその歴史背景を理解することに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

3. 題材の指導と評価の計画

(3)時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1(1)	単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。			<input checked="" type="radio"/>	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
	鑑賞に必要な用語、記号について学習する。	<input checked="" type="radio"/> 知			【知識・技能】 ワークシート
2(1)	オーケストラの楽器について知る。	<input checked="" type="radio"/> 知			【知識・技能】 ワークシート
	それぞれの楽器の特徴についてワークシートにまとめ、グループで意見を交換する。		<input checked="" type="radio"/>		【思考・判断・表現】 ワークシート
3(1)	「動物の謝肉祭」を鑑賞する。			<input checked="" type="radio"/>	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
	楽曲の特徴についてワークシートにまとめ、グループで意見や感想を交換する。		<input checked="" type="radio"/>		【思考・判断・表現】 ワークシート

指導と評価の計画

教科名：

芸術

科目名：

音楽 I

1. 題材名：

キーボードにチャレンジ
A表現（2）器楽（3）創作

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
楽譜の読み方やコードネームに関する知識を身に付け、コードネームの仕組みを理解している。 【知識・器楽イ（ア）】	コードネームに関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫している。	キーボードの演奏やコードネームに興味を持ち、主体的・協働的にキーボードの演奏及び創作の学習活動に取り組もうとしている。
キーボードの演奏に必要な運指や体の姿勢などの基礎的な技能を身に付け、特徴を活かして演奏している。 【技能・器楽ウ（ア）】		

3. 題材の指導と評価の計画

(14)時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1(1)	単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。			<input type="radio"/>	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
	キーボードの扱い方、運指、楽譜の読み方にについて知る。	<input type="radio"/> 知			【知識・技能】 ワークシート
2(2)	「かえるのうた」「ミッキーマウスマーチ」を練習し、運指や読譜に慣れる。	<input type="radio"/> 技		<input type="radio"/>	【知識・技能】 活動観察
3(3)	コードネームについて学習する。「ちょうど」「ハッピーバースデー」を練習し、コードネームの演奏に慣れる。	<input type="radio"/> 技		<input type="radio"/>	【知識・技能】 活動観察
4(6)	コードネームの知識を活かして創作の活動に取り組む。		<input type="radio"/>		【思考・判断・表現】 活動観察、作品提出
5(1)	学習した用語、記号についての確認テストを受ける。	<input type="radio"/> 知			【知識・技能】 確認テスト
6(1)	実技試験を受け、今まで学んだ知識や奏法などを演奏に活かすことができているか確認する。		<input type="radio"/>		【思考・判断・表現】 振り返りワークシート
		<input type="radio"/> 技			【知識・技能】 実技試験

指導と評価の計画

教科名 :

芸術

科目名 :

美術 I

1. 題材名 :

立方体デッサン

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>【知】鉛筆や練消しゴムなどの道具の使い方を理解している。</p> <p>【技】モチーフをよく観察し、面や陰影の特徴をとらえて表現している。</p>	<p>【発】地と図の関係をとらえ、画用紙の中にバランスよくモチーフを配置し、作品の構想を練っている。</p>	<p>【態表】鉛筆デッサンに関心をもち、主体的に制作に取り組んでいる。</p>

3. 題材の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<p>【導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆デッサンについて説明を聞き、ワークシートの練習課題に取り組む。 ・参考作品を鑑賞する ・鉛筆、練消しゴムの使い方の説明を聞き、制作の準備をする。 	<input type="radio"/> 知			<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート
2 (1)	<p>【制作①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立体をよく観察し、画用紙の中にバランスよく配置し、形をとる。 		<input type="radio"/> 発	<input type="radio"/> 態表	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子
3 (2)	<p>【制作②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立体の特徴をよく観察し、陰影をつける。 	<input type="radio"/> 技		<input type="radio"/> 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子

指導と評価の計画

教科名 :

芸術

科目名 :

美術 I

1. 題材名 :

模様のある色彩構成

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>【知】アクリル絵の具の基本的な使い方を理解している。</p> <p>【技】絵の具をしっかりと混色、色彩を創意工夫し、ムラなく着彩している。</p>	<p>【発】色相・彩度・明度のバランスを意識し色の配置を考え、美しい構成の構想を練っている。</p>	<p>【態表】アクリル絵の具での表現に関心をもち、主体的に表現にとりくんでいる。</p>

3. 題材の指導と評価の計画

(7) 時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<p>【導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクリル絵の具の使い方の説明を聞き、制作の準備をする。 ・オートマティスマペインティングで鉛筆で下書きをする。 	<input type="radio"/> 知		<input type="radio"/> 態表	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子
2 (5)	<p>【制作】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着彩の構想を考え、アクリル絵の具で色を塗る。 ・着彩した上から模様を描き、構成を完成させる。 	<input type="radio"/> 技	<input type="radio"/> 発		<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品

指導と評価の計画

教科名 :

芸術(美術)

科目名 :

美術 I

1. 題材名 :

都道府県PRポスター

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>【知】多くの人の視線をひきつけ、メッセージを伝えるというポスターの役割を理解している。</p> <p>【技】アクリル絵の具の特性を理解し、制作意図にあった表現の工夫をしている。</p>	<p>【発】テーマを自分なりに解釈し、主題を生成し、作品の構想を練っている。</p> <p>【鑑】ポスターを鑑賞し、作品のもつメッセージや視覚効果についての見方や感じ方を深めている。</p>	<p>【態表】ポスター関心をもち主体的に資料を集め、表現している。</p> <p>【態鑑】主体的にポスター作品のよさなどを感じ取り、表現の工夫などについて多様な視点から考える鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。</p>

3. 題材の指導と評価の計画

(11)時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<p>【導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> 説明を聞き、ポスターの役割を理解する。 	<input type="radio"/> 知		<input type="radio"/> 態表	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシート <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動の様子
2 (1)	<p>【発想】</p> <ul style="list-style-type: none"> アイディアをもとに作品の発想・構想を練り必要な資料を集める。 		<input type="radio"/> 発	<input type="radio"/> 態表	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシート 作品 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動の様子
3 (8)	<p>【制作】</p> <ul style="list-style-type: none"> アイディアをもとにイラストボードに下書きをする。 アクリル絵の具で着彩をする。 	<input type="radio"/> 技			<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動の様子
4 (1)	<p>【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品を相互鑑賞し、制作を振り返る。 		<input type="radio"/> 鑑	<input type="radio"/> 態鑑	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシート <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動の様子

指導と評価の計画

教科名 :

芸術

科目名 :

美術 I

1. 題材名 :

映像メディア表現 画像編集で顔を描こう

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 画像編集ソフトを効果的に使用し、創意工夫をして表現している。 技 アクリル絵の具の特性を生かしデジタル原画を表現している。	発 いろいろな色彩や色光のパターンを試しながら、創造的な表現の構想を練っている。 鑑 デジタル表現と絵の具での表現の見え方の違いや、色彩の組み合わせによる美しさを味わっている。	態表 映像メディア表現に関心をもち、意欲的に端末を用いて制作に取り組んでいる。 態鑑 デジタル表現と絵の具での表現の見え方の違いや、色彩の組み合わせによる美しさを味わおうとしている。

3. 題材の指導と評価の計画

(10) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【発想や構想】 ・参考作品を鑑賞し、制作の流れを理解する。 ・画像編集ソフトの使い方の説明を聞き、操作の練習をする。	<input type="radio"/> 知			【知識・技能】 ・作品
2 (2)	【制作①】 ・画像編集ソフトを使用し、自分の選んだ画像の編集をする。 ・印刷をした画像をもとに、作品の下絵をつくる。		<input type="radio"/> 発	<input type="radio"/> 態表	【思考・判断・表現】 ・作品 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子
3 (6)	【制作②】 ・アクリル絵の具を使用して着彩をする。	<input type="radio"/> 技			【知識・技能】 ・作品
4 (1)	【鑑賞】 ・完成した作品を相互鑑賞する。意見を交換しあい、感じたことや自分の考えをワークシートに記入する。		<input type="radio"/> 鑑	<input type="radio"/> 態鑑	【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子

指導と評価の計画

教科名 :

芸術

科目名 :

美術 I

1. 題材名 :

空想の生き物（塑像）

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 先人たちの作った作品を鑑賞し、造形的な見方や感じ方を深めている。	発 ものの組み合わせからイメージを膨らませて、色や形の表現を考えている。	態表 立体造形に関心をもち、意欲的に制作に取り組んでいる。
技 粘土の使い方、心棒の組み方を理解し表現している。	態鑑 立体造形に関心をもち、他者の作品のよさや美しさを味わっている。	態鑑 立体造形に関心をもち、意欲的に鑑賞に取り組んでいる。

(14) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【鑑賞①】 ・空想画を鑑賞し、感じたことを発表する。 ・作品のテーマと説明を聞き、制作の見通しをもつ。	<input type="radio"/> 知		<input type="radio"/> 態鑑	【知識・技能】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子
2 (2)	【発想や構想】 ・ワークシート、スライドで空想の生き物を鑑賞し自分なりのアイディアを考える。 ・アイディアをワークシートにまとめ、立体作品の構想を練る。		<input type="radio"/> 発	<input type="radio"/> 態表	【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子
3 (10)	【制作】 ・ワークシートをもとに、針金、新聞紙、麻紐を利用して心棒をつくる。 ・乾燥に注意しながら石粉粘土で肉付けをする。 ・粘土が完成したらアクリル絵の具で着彩をする。 ・絵の具が乾いたら水性ニスを塗り仕上がる。		<input type="radio"/> 技	<input type="radio"/> 態表	【知識・技能】 ・作品 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子
4 (1)	【鑑賞②】 ・自分の制作を振り返り、制作ノートに記入をする。 ・完成した作品を相互鑑賞する。		<input type="radio"/> 鑑	<input type="radio"/> 態鑑	【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ワークシート ・活動の様子

指導と評価の計画

教科名 :

芸術

科目名 :

美術 I

1. 題材名 :

蔵書票のデザイン（ゴム版画）

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 いろいろな種類の版画を鑑賞し、凸版の仕組みや表現の特徴を理解している。	発 白と黒のバランスやいろいろな彫り方を吟味し、版画表現のイメージを膨らませている。	態表 版画表現に関心をもち積極的に制作にとりくんでいる。
技 彫刻刀を正しく使い、美しい彫り跡をイメージしながら丁寧に版を制作している。	鑑 他者の作品を鑑賞し、版画表現のよさや美しさを味わい、見方や感じ方を深めている。	態鑑 意欲的に他者の作品を鑑賞し、よさや個性を味わおうとしている。

(14)時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【鑑賞①】 ・作品のテーマと説明を聞き、制作の見通しをもつ。	<input type="radio"/> 知			【知識・技能】 ・ワークシート ・活動の様子
2 (2)	【発想や構想】 ・版画の作品を鑑賞し、版画制作をするまでの要点を理解する。 ・ワークシート、スライドで蔵書票の意味と作品を学び自分のマークのアイディアを考える。		<input type="radio"/> 発	<input type="radio"/> 態表	【思考・判断・表現】 ・ワークシート ・活動の様子 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子
3 (2)	【制作①】 ・自分の考えたアイディアをもとに版画の下絵を作る。墨汁を使い、黒と白のバランスを考えて彩色する。		<input type="radio"/> 発	<input type="radio"/> 態表	【思考・判断・表現】 ・作品 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子
4 (8)	【制作②】 ・下絵をゴム板にトレースし、彫刻刀で彫り進める。 ・彫り終わったら水性インクを使用して、版画用紙に印刷をする。		<input type="radio"/> 技	<input type="radio"/> 態表	【知識・技能】 ・作品 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子
4 (1)	【鑑賞②】 ・自分の制作を振り返り、制作ノートに記入をする。 ・完成した作品を相互鑑賞する。		<input type="radio"/> 鑑	<input type="radio"/> 態鑑	【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーション I	単位数	3
----	------	----	---------------	-----	---

単元①【Lesson 1 Japan's New Tourism】

	内容のまとめごとの評価規準			主な評価方法
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・ 読むこと 聞くこと	【知識】動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞+動詞の原形を用いた文の形・意味・用法を理解している。	過去と現在の日本の観光の状況について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の住んでいる地域の魅力について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	ペーパー テスト 振り返りの記述 活動の観察
	【技能】過去と現在の日本の観光の状況について、動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞+動詞の原形などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、日本の観光について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。			
(やり取り) 話すこと	【知識】動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞+動詞の原形を用いた文の形・意味・用法を理解している。	過去と現在の日本の観光の状況について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の住んでいる地域の魅力について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話して伝え合うやり取りを続けようとしている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを話して伝え合うやり取りを続けようとしている。	パフォーマンステスト ワークシートの記述 活動の観察
	【技能】過去と現在の日本の観光の状況について、動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞+動詞の原形などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、日本の観光について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。			

指導と評価の計画

	じて捉えたり、日本の観光について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。			
(発表) 話すこと	【知識】動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞+動詞の原形を用いた文の形・意味・用法を理解している。	過去と現在の日本の観光の状況について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の住んでいる地域の魅力について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを理由や根拠とともに話して伝えようとしている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを理由や根拠とともに話して伝えようとしている。	パフォーマンステスト
	【技能】過去と現在の日本の観光の状況について、動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞+動詞の原形などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、日本の観光について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。			
書くこと	【知識】動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞+動詞の原形を用いた文の形・意味・用法を理解している。	過去と現在の日本の観光の状況について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の住んでいる地域の魅力について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを理由や根拠とともに書いて伝えようとしている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを理由や根拠とともに書いて伝えようとしている。	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察
	【技能】過去と現在の日本の観光の状況について、動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞+動詞の原形などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、日本の観光について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。			

指導と評価の計画

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
1 1 0	<ul style="list-style-type: none"> ● 単元の話題に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 ● 教科書や関連する話題を扱った教材から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 ● 過去と現在の日本の観光の状況について聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解したり、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。(言語活動) 	○	○	
1 1	<ul style="list-style-type: none"> ● パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 過去と現在の日本の観光の状況についての情報や自分の考え、気持ちなどを話して伝え合う。 		○	○
後 日	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期試験 	○		

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーション I	単位数	3
単元②【Lesson 2 Light From Creatures】					
	内容のまとめごとの評価規準			主な評価方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
・ 読むこと 聞くこと	【知識】受け身, 現在完了形, 現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。	光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについて, 必要な情報, 話し手・書き手の意図, 概要や要点を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 光る生き物について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して聞いたり読んだりして伝えている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 主体的, 自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	ペーパー テスト 振り返りの記述 活動の観察	
	【技能】光る生き物やその光が医療研究に利用されることについて, 受け身, 現在完了形, 現在完了進行形などの理解を基に, 必要な情報や話し手・書き手の意図, 概要や要点を目的に応じて捉えたり, 光る生き物について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。				
(やり取り) 話すこと	【知識】受け身, 現在完了形, 現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。	光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについて, 必要な情報, 話し手・書き手の意図, 概要や要点を捉えたり, 聴いたり読んだりしたことを活用しながら, 光る生き物について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話して伝え合うやり取りを続いている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 主体的, 自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	パフォーマンステスト ワークシートの記述 活動の観察	
	【技能】光る生き物やその光が医療研究に利用されることについて, 受け身, 現在完了形, 現在完了進行形などの理解を基に, 必要な情報や話し手・書き手の意図, 概要や要点を目的に応じて捉えたり, 光る生き物について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。				

指導と評価の計画

(発表) 話すこと	<p>【知識】受け身、現在完了形、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【技能】光る生き物やその光が医療研究に利用されることについて、受け身、現在完了形、現在完了進行形などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、光る生き物について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。</p>	<p>光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、光る生き物について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話して伝え合うやり取りを続けている。</p>	<p>英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>	パフォーマンステスト
	<p>【知識】受け身、現在完了形、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【技能】光る生き物やその光が医療研究に利用されることについて、受け身、現在完了形、現在完了進行形などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、光る生き物について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。</p>	<p>光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、光る生き物について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して情報や自分の考えを理由や根拠とともに書いて伝えていく。</p>	<p>英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>	ペーパー 振り返りの記述 活動の観察
書くこと	<p>【知識】受け身、現在完了形、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【技能】光る生き物やその光が医療研究に利用されることについて、受け身、現在完了形、現在完了進行形などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、光る生き物について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。</p>	<p>光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、光る生き物について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話して伝え合うやり取りを続けている。</p>	<p>英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>	ペーパー 振り返りの記述 活動の観察

指導と評価の計画

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
1 2 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> ● 単元の話題に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 ● 教科書や関連する話題を扱った教材から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 ● 光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについて聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。（言語活動） ● 光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについて、情報や考え、気持ちはなどを理由とともに話して伝え合う。（言語活動） 	○	○	
2 2	<ul style="list-style-type: none"> ● パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについての情報や自分の考え、気持ちはなどを話して伝え合う。 		○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーション I	単位数	3
----	------	----	---------------	-----	---

単元③ 【Lesson 3 Routes to the Top】

△	内容のまとめごとの評価規準			主な評価方法
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
読むこと 聞くこと	[知識] 動名詞や不定詞を用いた文の構造について理解している。 [技能] スポーツクライマーである野口選手のインタビューについて、概要や要点を聞き(読み)取ることができる。	スポーツクライマーである野口選手のインタビューを聞いたり、読んだりして、自分のキャリアと関連付けて考えることができる。	スポーツクライマーである野口選手のインタビューについて、興味・関心を持ち、聞く(読む)様子が窺える。	ペーパー テスト ワークシート
	[知識] [技能]			
(発表) 話すこと	[知識] 効果的な発表方法について理解している。 [技能] 好きなスポーツ選手について発表することができる。	好きなスポーツ選手について調べた情報を適切に整理して、聞き手が理解できるように発表することができる。	好きなスポーツ選手について、事前に準備したスライドと原稿を用いて発表することができる。	ワークシート スライド
	[知識] 動名詞や不定詞の用法について理解している。 [技能] 動名詞や不定詞を適切に使用することができる。	動名詞や不定詞を目的や場面に応じて使用することができる。	動名詞や不定詞を用いた英文を読み手が理解できるように書いている。	ペーパー テスト

指導と評価の計画

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
2 3 3 3 3	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツクライマーである野口選手のインタビューについて理解するために英文を聞いたり、読んだりする。 ● 好きなスポーツ選手について発表する。 ● 動名詞や不定詞の用法について学習する。 		○	○
後日	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期試験 	○		

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーション I	単位数	3
----	------	----	---------------	-----	---

単元④ 【Lesson 4 Left to Right, Right?】

	内容のまとめごとの評価規準			主な評価方法
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・ 読むこと 聞くこと	[知識] 比較級・最上級を用いた文の構造について理解している。	日本のマンガの形式とその翻訳に関する英文を聞いたり、読んだりして日本と外国との違いについて考えることができる。	日本のマンガの形式とその翻訳について、興味・関心を持ち、聞く（読む）様子が窺える。	ペーパー テスト ワークシート
	[技能] 日本のマンガの形式とその翻訳について、概要や要点を聞き（読み）取ることができる。			
(やり取り) 話すこと	[知識] 比較級・最上級の用法について理解している。	比較表現を用いた英文を場面や状況に応じて考え、伝えることができる。	比較級・最上級を用いた身近な話題について、ペアやグループで積極的にやり取りしている。	活動の観察
	[技能] 比較表現を用いて身近な話題について話し合うことができる。			
(発表) 話すこと	[知識] 日本の文化の魅力や特色について理解している。	日本の文化の魅力や特色について調べた内容を適切に整理して、聞き手が理解できるように発表することができる。	日本の文化について、事前に準備したスライドと原稿を用いて発表することができる。	パフォーマンステスト
	[技能] 日本の文化について発表することができる。			
書くこと	[知識] 比較級・最上級の用法について理解している。	比較級・最上級を目的や場面に応じて使用することができる。	比較級・最上級を用いた英文を読み手が理解できるよう書いている。	ペーパー テスト
	[技能] 比較級・最上級を適切に使用することができる。			

指導と評価の計画

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
1 1 4	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本のマンガの形式とその翻訳について理解するために英文を聞いたり、読んだりする。 ● 日本の文化について発表する。 ● 比較級・最上級の用法について学習する。 ● ポートフォリオ（学習の記録）を作成する。 		○	○
後 日	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期試験 	○		

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーション I	単位数	3
----	------	----	---------------	-----	---

単元⑤ 【Lesson 5 Banana Paper】

	内容のまとめごとの評価規準			主な評価方法
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・ 読むこと	[知識] 関係代名詞を用いた文の構造について理解している。	バナナペーパープロジェクトに関する英文を聞いたり、読んだりして、環境に配慮した取り組みについて考えることができる。	バナナペーパープロジェクトによる村の人々の暮らしの変化について、興味・関心を持ち、聞く（読む）様子が窺える。	ペーパー テスト
	[技能] バナナペーパープロジェクトによる村の人々の暮らしの変化について、概要や要点を聞き（読み）取ることができる。			ワークシート
(やり取り)	[知識] バナナペーパープロジェクトの概要について理解している。	環境に配慮した取り組みについて、自分の意見を適切に伝えることができる。	環境に配慮した取り組みについて、ペアやグループで積極的に意見交換している。	活動の観察
	[技能] バナナペーパープロジェクトについて話し合うことができる。			
(発表)	[知識]			
	[技能]			
書くこと	[知識] 関係代名詞の用法について理解している。	関係代名詞を目的や場面に応じて使用することができる。	関係代名詞を用いた英文を読み手が理解できるように書いている。	ペーパー テスト
	[技能] 関係代名詞を適切に使用することができる。			

指導と評価の計画

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
1 5 3 6	<ul style="list-style-type: none"> ● バナナペーパープロジェクトによる村の人々の暮らしの変化について理解するために英文を聞いたり、読んだりする。 ● 関係代名詞の用法について学習する。 ● ポートフォリオ（学習の記録）を作成する。 		○	○
後 日	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期試験 	○		

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーション I	単位数	3
----	------	----	---------------	-----	---

単元⑥ 【Lesson 7 No Plastic or No Future】

		内容のまとめごとの評価規準			主な評価方法
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
こと 聞く		[知識] [技能]			
こと 話す		[知識] [技能]			
(発表) こと 話すこと	[知識] 効果的な発表方法について理解している。	SDGsについて調べた情報を適切に整理して、聞き手の興味関心を促す発表をすることができる。	SDGsについて発表するために、原稿とスライドを事前に準備して提出することができる。		パフォーマンステスト 課題の提出
	[技能] SDGsについて調べた内容と自分の意見を発表することができる。				
こと 書く		[知識] [技能]			

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
1 ～ 5	<ul style="list-style-type: none"> ● SDGsに関する情報を調べ、自分の意見を考える。 ● 発表用の原稿とスライドを作成する。 ● 発表用スライドを用いて発表をする。 		○	○

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーション I	単位数	3
----	------	----	---------------	-----	---

単元⑦ 【Lesson 9 Is E-sports a Real Sports?】

△	内容のまとめごとの評価規準			主な評価方法
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・ 読むこと 聞くこと	<p>〔知識〕 知覚動詞と使役動詞を用いた文の構造について理解している。</p> <p>〔技能〕 e スポーツの現状と利点や欠点について、概要や要点を読み(聞き)取ることができる。</p>	<p>e スポーツに関する会話文を聞いたり、読んだりしてその利点や欠点について考えることができる。</p>	<p>e スポーツの現状と利点や欠点に関する英文を興味関心を持ち、読む(聞く)ことができる。</p>	ペーパー テスト ワークシート
(やり取り) 話すこと	<p>〔知識〕 知覚動詞と使役動詞を用いた文の構造について理解している。</p> <p>〔技能〕 知覚動詞と使役動詞を用いて最近の出来事について話すことができる。</p>	<p>知覚動詞と使役動詞を用いた英文を場面や状況に応じて考え、話すことができる。</p>	<p>最近の出来事について、ペアやグループで積極的にやり取りしている。</p>	活動の観察 ワークシート
(発表) 話すこと	<p>〔知識〕</p> <p>〔技能〕</p>			
書くこと	<p>〔知識〕 知覚動詞と使役動詞を用いた文の構造について理解している。</p> <p>〔技能〕 知覚動詞と使役動詞を用いて適切に英文を書くことができる。</p>	<p>知覚動詞と使役動詞を用いた英文を目的や場面に応じて書くことができる。</p>	<p>使役動詞と知覚動詞を用いた英文を読み手が理解できるように書いている。</p>	ペーパー テスト

指導と評価の計画

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
6 5 2 1	<ul style="list-style-type: none"> ● eスポーツの現状と利点や欠点について理解するために、英文を読んだり、聞いたりする。 ● 知覚動詞と使役動詞を用いた文の構造について学習する。 ● ポートフォリオ（学習の記録）を作成する。 			○
後日	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期試験 	○	○	

指導と評価の計画

教科	外国語	科目	論理・表現 I	単位数	2
単元①【Pre - Lesson 1 ~ 6】					
	内容のまとめごとの評価規準			主な評価方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
読むこと					
(やり取り)	<p>[知識]文の主語と述語の関係や可算名詞と不可算名詞について理解している。</p> <p>[技能]疑問文を用いて「～ですか」「～しますか」など質問することができる。</p>	日本語で省略される主語などに注意して、名詞や動詞を適切に使用することができる。	「だれが」「～する」を適切に伝える文構造を意識して話すことができる。	活動の観察	
(発表)					
書くこと	<p>[知識]不規則に変化する動詞の活用について理解している。</p> <p>[技能]日常で行うことについて描かれたイラストを見て、肯定文や否定文で書くことができる。</p>	文の種類（肯定文、否定文、疑問文、命令文など）を文脈によって適切に使い分けることができる。	自分やクラスメイトが好きなもの（こと）や嫌いなもの（こと）について、適切な表現で書くことができる。	ペーパーテスト	

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知 技	思 判 表	主
1 ～ 10	<ul style="list-style-type: none"> 文の種類や品詞、動詞の活用など英語の基礎・基本を学ぶ。 日常で行うことや天候について英語で表現(話す・書く)する。 「～がある(いる)」という内容を英語で表現する。 	○	○	○
後日	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 初めて聞いたり読んだりする英文からも出題されます。 日頃の取り組みについての提出物 	○	○	

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	論理表現 I	単位数	2
単元②【Lesson 1 My Hero】					
	内容のまとめごとの評価規準			主な評価方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
・ 聴くこと	[知識] 文章を聞き取ったり読み取ったりするため必要となる語彙や表現を理解している。	自分の判断や気持ちを伝えるために、現在形、過去形を使った表現を話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えている。	自分の判断や気持ちを伝えるために、現在形、過去形を使った表現を話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えようとしている。	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] 話されたり、書かれたりした説明文を聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。				
(やり取り)	[知識] 現在形、過去形の特徴やきまりに関する事項を理解している。	話し手の判断や気持ちについて、現在形、過去形を用いて、自分の考え、気持ちを即興で伝え合っている。	話し手の判断や気持ちについて、現在形、過去形を用いて、自分の考え、気持ちを即興で伝え合おうとしている。	振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] 話し手の判断や気持ちを説明する表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを即興で伝え合う技能を身に付けている。				
(発表)	[知識] 現在形、過去形の特徴やきまりに関する事項を理解している。	話し手の判断や気持ちについて、現在形、過去形を用いて説明している。	話し手の判断や気持ちについて、現在形、過去形を用いて説明しようとしている。	振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] 話し手の判断や気持ちについて、現在形、過去形を用いて説明している。				
書くこと	[知識] 現在形、過去形の特徴やきまりに関する事項を理解している。	話し手の判断や気持ちについて、現在形、過去形を用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、正確に書いている。	話し手の判断や気持ちについて、現在形、過去形を用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、正確に書こうとしている。	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] 話し手の判断や気持ちについて、現在形、過去形を用いて、正確に書く技能を身に付けている。				

記録に残す評価 (○)

指導と評価の計画

時間	主な学習活動	知	思	主
1 1 1 6	<ul style="list-style-type: none"> ● 話し手の判断や気持ちを伝えるために、現在形、過去形を使った表現を話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えたりする。 ● 話し手の判断や気持ちについて、現在形、過去形を用いて、事実や自分の考え、気持ちを即興で伝え合う。 ● 現在形、過去形の特徴やきまりに関する事項を理解したうえで、現在形、過去形を用いて写真の内容を説明する。 ● 例文テスト 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	論理表現 I	単位数	2
単元③【Lesson 2 Weather Forecast for Tomorrow?】					
	内容のまとめごとの評価規準			主な評価方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
・ 聴くこと	[知識] 文章を聞き取ったり読み取ったりするため必要となる語彙や表現を理解している。	未来形を用いる場面を理解したうえで、話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えている。	未来形を用いる場面を理解したうえで、話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えようとしている。	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] 未来形を用いて話されたり、書かれたりした説明文を聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。				
(やり取り)	[知識] 未来形の特徴やきまりに関する事項を理解している。	未来形を用いて、自分の考え、気持ちを即興で伝え合っている。	絵について未来形を用いて、自分の考え、気持ちを即興で伝え合おうとしている。	振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] 絵について未来形を用いて即興で伝え合う技能を身に付けている。				
(発表) 話すこと	[知識] 未来形のきまりに関する事項を理解している。	写真について、未来形を用いて説明している。	写真について、未来形を用いて説明しようとしている。	振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] 写真について、未来形を用いて説明している。				
書くこと	[知識] 未来形の特徴やきまりに関する事項を理解している。	未来形を用いて、その時の状態を正確に書いていている。	未来形を用いて、その時の状態を正確に書こうとしている。	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] 未来形を用いて、正確に書く技能を身に付けている。				

指導と評価の計画

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
1 7 ↙ 2 2	<ul style="list-style-type: none"> ● 未来形の特徴やきまりに関する事項を理解する。 ● 未来形を用いる場面を理解したうえで、話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉える。 ● 絵について未来形を用いて、自分の考え、気持ちを即興で伝え合う。 ● 未来形を理解したうえで、写真の内容について即興で相手に伝える。 ● 例文テスト 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
後日	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期試験 初めて聞いたり読んだりする英文からも出題されます。 ● 日頃の取り組みについての提出物 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	論理表現 I	単位数	2
単元④【Lesson 3 Tips on Visiting a Japanese Temple】					
	内容のまとめごとの評価規準			主な評価方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
・ 聞くこと	[知識] 文章を聞き取ったり読み取ったりするため必要となる語彙や表現を理解している。	助動詞を用いる場面を理解したうえで、話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えている。	助動詞を用いる場面を理解したうえで、話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えようとしている。	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] 助動詞を用いて話されたり、書かれたりした説明文を聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。				
(や取り) 話すこと	[知識] 助動詞の特徴やきまりに関する事項を理解している。	絵について助動詞を用いて、自分の考え、気持ちを即興で伝え合っている。	絵について助動詞を用いて、自分の考え、気持ちを即興で伝え合おうとしている。	パフォーマンステスト 振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] 絵について助動詞を用いて即興で伝え合う技能を身に付けている。				
(発表) 話すこと	[知識] 助動詞のきまりに関する事項を理解している。	写真について、助動詞を用いて説明している。	写真について、助動詞を用いて説明しようとしている。	パフォーマンステスト 振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] 写真について、助動詞を用いて説明している。				
書くこと	[知識] 助動詞の特徴やきまりに関する事項を理解している。	助動詞を用いて、その時の状態を正確に書いていている。	助動詞を用いて、その時の状態を正確に書こうとしている。	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] 助動詞を用いて、正確に書く技能を身に付けている。				

指導と評価の計画

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
1 ～ 6	<ul style="list-style-type: none"> ● 助動詞の特徴やきまりに関する事項を理解する。 ● 助動詞を用いる場面を理解したうえで、話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉える。 ● 絵について助動詞を用いて、事実や自分の考えを即興で伝え合う。 ● 助動詞の特徴やきまりを理解したうえで、写真の内容について即興で相手に伝える。 ● 例文テスト 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7	<ul style="list-style-type: none"> ● パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 写真について、助動詞を用いて説明する。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	論理表現 I	単位数	2
----	------	----	--------	-----	---

単元⑤【Lesson 4 The key to Learn Kanji】

△	内容のまとめごとの評価規準			主な評価方法
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・ 聞くこと	<p>[知識] 文章を聞き取ったり読み取ったりするため必要となる語彙や表現を理解している。</p> <p>[技能] 完了形を用いて話されたり、書かれたりした説明文を聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。</p>	<p>完了形を用いる場面を理解したうえで、話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えている。</p>	<p>完了形を用いる場面を理解したうえで、話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えようとしている。</p>	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察
(やり取り)	<p>[知識] 完了形の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 絵について完了形を用いて即興で伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>絵について完了形を用いて、自分の考え、気持ちを即興で伝え合っている。</p>	<p>絵について完了形を用いて、自分の考え、気持ちを即興で伝え合おうとしている。</p>	振り返りの記述 活動の観察
(発表)	<p>[知識] 完了形のきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 写真について、完了形を用いて説明している。</p>	<p>写真について、完了形を用いて説明している。</p>	<p>写真について完了形を用いて説明しようとしている。</p>	振り返りの記述 活動の観察
書くこと	<p>[知識] 完了形の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 完了形を用いて、正確に書く技能を身に付けている。</p>	<p>完了形を用いて、その時の状態を正確に書いている。</p>	<p>完了形を用いて、その時の状態を正確に書こうとしている。</p>	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察

指導と評価の計画

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
8 ～ 13	<ul style="list-style-type: none"> ● 完了形の特徴やきまりに関する事項を理解する。 ● 完了形を用いる場面を理解したうえで、話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉える。 ● 絵について完了形を用いて、事実や自分の考えを即興で伝え合う。 ● 完了形の特徴やきまりを理解したうえで、写真の内容について即興で相手に伝える。 ● 例文テスト 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
後日	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期試験 初めて聞いたり読んだりする英文からも出題されます。 ● 日頃の取り組みについての提出物 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	論理表現 I	単位数	2
単元⑥【Lesson 5 Home- Made Bread】					
	内容のまとめごとの評価規準			主な評価方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
・ 聞くこと	[知識] 文章を聞き取ったり読み取ったりするため必要となる語彙や表現を理解している。	受動態を用いる場面を理解したうえで、話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えている。	受動態を用いる場面を理解したうえで、話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えようとしている。	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] 受動態を用いて話されたり、書かれたりした説明文を聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。				
(や取り) 話すこと	[知識] 受動態の特徴やきまりに関する事項を理解している。	絵について受動態を用いて、自分の考え、気持ちを即興で伝え合っている。	絵について受動態を用いて、自分の考え、気持ちを即興で伝え合おうとしている。	振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] 絵について受動態を用いて即興で伝え合う技能を身に付けている。				
(発表) 話すこと	[知識] 受動態のきまりに関する事項を理解している。	写真について、受動態を用いて説明している。	写真について、受動態を用いて説明しようとしている。	振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] 写真について、受動態を用いて説明している。				
書くこと	[知識] 受動態の特徴やきまりに関する事項を理解している。	受動態を用いて、その時の状態を正確に書いていている。	受動態を用いて、その時の状態を正確に書こうとしている。	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] 受動態を用いて、正確に書く技能を身に付けている。				

指導と評価の計画

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
1 4 （ 1 9	<ul style="list-style-type: none"> ● 受動態の特徴やきまりに関する事項を理解する。 ● 受動態を用いる場面を理解したうえで、話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉える。 ● 絵について受動態を用いて、事実や自分の考えを即興で伝え合う。 ● 受動態の特徴やきまりを理解したうえで、写真の内容について即興で相手に伝える。 ● 例文テスト 	○	○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	論理表現 I	単位数	2
単元⑦【Lesson 6 Guinness World Records】					
△	内容のまとめごとの評価規準			主な評価方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
・ 聞くこと	[知識] 文章を聞き取ったり読み取ったりするため必要となる語彙や表現を理解している。	自分の判断や気持ちを伝えるために、比較級、最上級を使った表現を話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えている。	自分の判断や気持ちを伝えるために、比較級、最上級を使った表現を話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えようとしている。	ペーパーテスト	振り返りの記述 活動の観察
	[技能] 比較級、最上級を使って話されたり、書かれたりした説明文を聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。				
(やり取り)	[知識] 比較級、最上級の特徴やきまりに関する事項を理解している。	話し手の判断や気持ちについて、比較級、最上級を用いて、自分の考え、気持ちを即興で伝え合っている。	話し手の判断や気持ちについて、比較級、最上級を用いて、自分の考え、気持ちを即興で伝え合おうとしている。	振り返りの記述 活動の観察	振り返りの記述 活動の観察
	[技能] 話し手の判断や気持ちを説明する表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを即興で伝え合う技能を身に付けている。				
(発表)	[知識] 比較級、最上級の特徴やきまりに関する事項を理解している。	話し手の判断や気持ちについて、比較級、最上級を用いて説明している。	話し手の判断や気持ちについて、比較級、最上級を用いて説明しようとしている。	振り返りの記述 活動の観察	振り返りの記述 活動の観察
	[技能] 話し手の判断や気持ちについて、比較級、最上級を用いて説明している。				
書くこと	[知識] 比較級、最上級の特徴やきまりに関する事項を理解している。	話し手の判断や気持ちについて、比較級、最上級を用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、正確に書いている。	話し手の判断や気持ちについて、比較級、最上級を用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、正確に書こうとしている。	ペーパーテスト	振り返りの記述 活動の観察
	[技能] 話し手の判断や気持ちについて、比較級、最上級を用いて、正確に書く技能を身に付けている。				

指導と評価の計画

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
2 0 ○ 2 4	<ul style="list-style-type: none"> ● 比較級、最上級の特徴やきまりに関する事項を理解する。 ● 比較級、最上級を用いる場面を理解したうえで、話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉える。 ● 絵について比較級、最上級を用いて、事実や自分の考えを即興で伝え合う。 ● 比較級、最上級の特徴やきまりを理解したうえで、写真の内容について即興で相手に伝える。 ● 例文テスト 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
後日	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期試験 初めて聞いたり読んだりする英文からも出題されます。 ● 日頃の取り組みについての提出物 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	論理表現 I	単位数	2
単元⑧【Lesson 7 Japanese Bentos Are Cool!】					
△	内容のまとめごとの評価規準			主な評価方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
・ 読むこと	[知識] 文章を聞き取ったり読み取ったりするため必要となる語彙や表現を理解している。	同等、倍数比較を理解したうえで、話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えている。	同等、倍数比較を理解したうえで、話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えようとしている。	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] 同等、倍数比較を用いて話されたり、書かれたりした説明文を聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。				
(やり取り)	[知識] 同等、倍数比較の特徴やきまりに関する事項を理解している。	同等、倍数比較を用いて、自分の考え、気持ちを即興で伝え合っている。	同等、倍数比較を用いて、自分の考え、気持ちを即興で伝え合おうとしている。	パフォーマンステスト 振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] 同等、倍数比較を用いて即興で伝え合う技能を身に付けている。				
(発表)	[知識] 同等、倍数比較のきまりに関する事項を理解している。	写真について、同等、倍数比較を用いて説明している。	写真について、同等、倍数比較を用いて説明しようとしている。	パフォーマンステスト 振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] 写真について、同等、倍数比較を用いて説明している。				
書くこと	[知識] 同等、倍数比較の特徴やきまりに関する事項を理解している。	同等、倍数比較を用いて、その時の状態を正確に書いている。	同等、倍数比較を用いて、その時の状態を正確に書こうとしている。	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] 同等、倍数比較を用いて、正確に書く技能を身に付けている。				

指導と評価の計画

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
1 ～ 6	<ul style="list-style-type: none"> ● 同等、倍数比較の文法事項を理解する。 ● 同等、倍数比較を理解したうえで、話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉える。 ● 絵について同等、倍数比較を用いて、自分の考え、気持ちを即興で伝え合う。 ● 同等、倍数比較を理解したうえで、写真の内容について即興で相手に伝える。 ● 例文テスト 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 ～ 8	<ul style="list-style-type: none"> ● パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 ● 写真について、同等、倍数比較を用いて説明する。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	論理表現 I	単位数	2
単元⑨【Lesson 10 Who's the Girl Walking with You?】					
	内容のまとめごとの評価規準			主な評価方法	
・ 読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察	
	[知識] 文章を聞き取ったり読み取ったりするため必要となる語彙や表現を理解している。 [技能] 分詞を用いて話されたり、書かれたりした説明文を聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。	分詞を理解したうえで、話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えている。	分詞を理解したうえで、話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えようとしている。		
(やり取り)	[知識] 分詞の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 分詞を用いて即興で伝え合う技能を身に付けている。	分詞を用いて、自分の考え、気持ちを即興で伝え合っている。	分詞を用いて、自分の考え、気持ちを即興で伝え合おうとしている。	振り返りの記述 活動の観察	
(発表)	[知識] 分詞のきまりに関する事項を理解している。 [技能] 写真について、分詞を用いて説明している。	写真について、分詞を用いて説明している。	写真について、分詞を用いて説明しようとしている。	振り返りの記述 活動の観察	
書くこと	[知識] 分詞の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 分詞を用いて、正確に書く技能を身に付けている。	分詞を用いて、その時の状態を正確に書いている。	分詞を用いて、その時の状態を正確に書こうとしている。	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察	

指導と評価の計画

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
9 ～ 1 4	<ul style="list-style-type: none"> ● 分詞の文法事項を理解する。 ● 分詞を理解したうえで、話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉える。 ● 絵について分詞を用いて、自分の考え、気持ちを即興で伝え合う。 ● 分詞を理解したうえで、写真の内容について即興で相手に伝える。 ● 例文テスト 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
後日	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期試験 初めて聞いたり読んだりする英文からも出題されます。 ● 日頃の取り組みについての提出物 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

1 単元名：情報の特性

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
情報とデータの違いや情報の特性について理解している。	情報の特性を観点に分けて考えることができ、具体的な特性を理由とともに説明できる。	情報の特性が果たす意義や留意点に気づき、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画 (1)時間扱い 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1	・教科書やプリントを通して、情報とデータの違いや情報の特性などについてのまとめを行う。	<input checked="" type="radio"/>			【知識・技能】 プリントの記述の確認
後日	・定期テスト	<input checked="" type="radio"/>			【知識・技能】 定期テスト

1 単元名 :

メディアの特性

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
メディアの3つの特性とそれぞれのメリット・デメリットやメディアが人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解している。	目的や状況に応じて、適切なメディアを選択することができる。また、理由とともにメディアの捉え方を説明している。	メディアの特性が果たす意義や留意点に気づき、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(1) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1	・教科書やプリントを通して、メディアの特性などについてのまとめを行う。	<input type="radio"/>			【知識・技能】 プリントの記述の確認
後日	・定期テスト	<input type="radio"/>			【知識・技能】 定期テスト

1 単元名 :

問題解決の考え方

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
問題を発見する流れや技能を身に付けている。また、問題解決の一連の流れにおいて、それぞれの過程で必要になることを理解し、情報や情報技術を活用して問題を発見・解決する技能を身に付けていく。	目的や状況に応じて、情報を適切に活用して問題を発見・解決する方法について考えることができる。	情報社会における問題の発見・解決に、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。また、自己調整しながら解決する過程や解決案を自ら評価し改善しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(2) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1	・教科書やプリントを通して、問題を発見する流れやその流れの中で必要となることなどについてのまとめを行う。	<input type="radio"/>			【知識・技能】 プリントの記述の確認
2	・問題に対してインターネットを活用して情報を整理することで、解決案を考える。 ・解決案を生徒間で共有する。 ・振り返りシートにより単元の学習を振り返る。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		【知識・技能】 プリントの記述の確認 【思考・判断・表現】 「振り返りシート」の記述の分析
後日	・定期テスト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		【知識・技能】 定期テスト 【思考・判断・表現】 定期テスト

1 単元名 :

法の重要性と意義（著作権）

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
情報社会における著作権侵害や著作権・知的財産権・産業財産権について理解している。また、情報や情報技術を活用して問題を発見・解決する技能を身に付けている。	目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えることができる。また、情報社会において個人の果たす役割や責任・情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え考えることができる。	情報社会における問題の発見・解決に、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。また、自己調整しながら解決する過程や解決案を自ら評価し改善しようとし、情報モラルに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(2)時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1	教科書やプリントを通して、情報社会における様々な権利や法についてのまとめを行う。		<input type="radio"/>		【思考・判断・表現】 プリントの記述の確認
2	・動画の視聴やグループワークなどを通じて情報社会における問題点や解決案を考える。 ・解決案を生徒間で共有する。 ・振り返りシートにより単元の学習を振り返る。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【思考・判断・表現】 プリントの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
後日	・定期テスト		<input type="radio"/>		【思考・判断・表現】 定期テスト

1 単元名 :

法の重要性と意義（個人情報）

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人情報や個人情報の保護について理解し、情報や情報技術を活用して問題を発見・解決する技能を身に付けていく。	情報に関する法規や制度の重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて、それらの背景を科学的に捉え考えることができる。また、情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考えることができる。	情報社会における問題の発見・解決に、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。また、自己調整しながら解決する過程や解決案を自ら評価し改善しようとし、情報モラルに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(1) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1	・教科書やプリントを通して、個人情報の保護や情報社会における個人の責任や情報モラルなどについてのまとめを行う。		<input type="radio"/>		【思考・判断・表現】 プリントの記述の確認
後日	・定期テスト		<input type="radio"/>		【思考・判断・表現】 定期テスト

1 単元名 :

情報社会と情報セキュリティ

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
情報通信技術を悪用したさまざまな犯罪や情報セキュリティの確保の重要性について理解している。また、情報や情報技術を活用して問題を見・解決する技能を身に付けている。	情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任・情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え考えることができる。	情報社会における問題の発見・解決に、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。また、自己調整しながら解決する過程や解決案を自ら評価し改善しようとし、情報モラルに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(1)時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1	・教科書やプリントを通して、情報社会における犯罪や情報セキュリティの重要性などについてのまとめを行う。	<input type="radio"/>			【知識・技能】 プリントの記述の確認
後日	・定期テスト	<input type="radio"/>			【知識・技能】 定期テスト

単元の指導と評価の計画

教科名 :

情報

科目名 :

情報 I

1 単元名 :

情報技術の発展による生活の変化

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ソーシャルメディアがわたしたちの生活に与える影響ソーシャルメディアの利用にあたってわたくしたちが果たすべき役割について理解している。	情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考えることができる。	情報社会の問題解決を通して、望ましい情報社会の構築に寄与しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(1) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1	・教科書やプリントを通して、ソーシャルメディアの望ましい利用についてのまとめを行う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		【知識・技能】 プリントの記述の確認 【思考・判断・表現】 「振り返りシート」の記述の分析
後日	・定期テスト	<input type="radio"/>			【知識・技能】 定期テスト

1 単元名 : 情報技術の発展による社会の変化

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
情報技術の発展による社会の変化や情報社会が抱える問題と、それらの問題を解決していくことの重要性について理解している。また、情報や情報技術を活用して問題を発見・解決する技能を身に付けている。	情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考えることができる。	情報社会の問題解決を通して、望ましい情報社会の構築に寄与しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画 (1) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1	・教科書やプリントを通してSociety 5.0 の到来と情報社会の未来と問題解決についてのまとめを行う。	<input type="radio"/>			【知識・技能】 プリントの記述の確認
後日	・定期テスト	<input type="radio"/>			【知識・技能】 定期テスト

単元の指導と評価の計画 教科名 :

情報

科目名 : 情報 I

1 単元名 : メディアとコミュニケーション

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
コミュニケーションの手段やメディアの発達したことにより生じる課題の原因やメディア・リテラシーの必要性について理解している。また、インターネットが普及したことにより情報格差が生まれたことについて理解している。	メディアが発達したことにより、便利になったことと課題や情報格差の問題点について考えることができる。また、インターネットの特性を踏まえ、情報発信時に誹謗中傷や人権に配慮できているかを判断し、目的に応じたメディアの選択ができる。	コミュニケーションの手段やメディアが発達したことにより生じた課題について主体的に考えようとしている。また、スマートフォンなどの利用について考え、理解を深めようとし、情報格差の問題点・解消するアイデアやについて考えようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(3)時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1	・教科書やプリントを通して、ソーシャルメディアなどのコミュニケーションについてのまとめを行う。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	【知識・技能】 プリントの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
2 (2)	・教科書やプリントを通して、インターネットの発展や仕組みについてのまとめを行う。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【思考・判断・表現】 プリントの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
後日	・定期テスト	<input type="radio"/>			【知識・技能】 定期テスト

単元の指導と評価の計画

教科名 :

情報

科目名 :

情報 I

1 単元名 :

情報のデジタル化

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2進法・10進法・16進法の相互変換や文字コードのエンコーディングについて理解している。また、さまざまなデータ圧縮やデジタル化のしくみについて理解している。	アナログとデジタルのそれぞれの利点と欠点やビットマップフォントとアウトラインフォントの違いについて考えることができる。また、デジタル化や圧縮のしくみの説明や、音・画像・動画のデータの特性に応じた適切な計算式を判断できる。	身近なアナログとデジタルのデータを扱っているものを積極的に探し、理解を深めようとしている。また、圧縮と展開の活動やさまざまなデジタル化に積極的に取り組み、理解しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	教科書やプリントを通して、コンピュータにおける様々な表現についてのまとめを行う。 ・振り返りシートにより単元の学習を振り返る。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【思考・判断・表現】 プリントの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
2 (3)	教科書やプリントを通して、デジタルデータの特徴についてのまとめを行う。 ・振り返りシートにより単元の学習を振り返る。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		【知識・技能】 プリントの記述の確認 【思考・判断・表現】 「振り返りシート」の記述の分析
後日	・定期テスト	<input type="radio"/>			【知識・技能（技術）】 定期テスト

単元の指導と評価の計画

教科名 :

情報

科目名 :

情報 I

1 単元名 :

情報デザイン

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
情報デザインの意味や問題発見の重要性について理解している。また、評価の手法の種類や得られる情報について理解し、試作を作成するためのソフトウェア操作の技能を身に付けている。	身近な問題を考え、情報デザインの考えをもとに伝えたい情報を表現することができる。また、適切な評価の手法を選択しメディアにあった表現を考え要件に基づいてラフ・試作品を表現できる。	情報デザインの力で問題解決に取り組もうとしている。また、評価・改善の取り組みの重要性を理解し、積極的にアイディアを出し他者の意見を尊重しながら問題を解決しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	教科書やプリントを通して、情報デザインのプロセスと問題の発見についてのまとめを行う。 ・振り返りシートにより単元の学習を振り返る。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【思考・判断・表現】 プリントの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
2 (2)	教科書やプリントを通して、デザインの要件と設計・試作や評価・改善・運用についてのまとめを行う。 ・振り返りシートにより単元の学習を振り返る。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		【知識・技能】 プリントの記述の確認 【思考・判断・表現】 「振り返りシート」の記述の分析
後日	・定期テスト	<input type="radio"/>			【知識・技能（技術）】 定期テスト

指導と評価の計画

教科名 :

情報

科目名 :

情報 I

1 単元名 :

情報デザイン(実習)

2 単元の目標と評価規準

知識・技能 (技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
情報デザインの意味や問題発見の重要性について理解している。また、評価の手法の種類や得られる情報について理解し、試作を作成するためのソフトウェア操作の技能を身に付けている。	身近な問題を考え、情報デザインの考えをもとに伝えたい情報を表現することができる。また、適切な評価の手法を選択しメディアにあった表現を考え要件に基づいてラフ・試作品を表現できる。	情報デザインの力で問題解決に取り組もうとしている。また、評価・改善の取り組みの重要性を理解し、積極的にアイディアを出し他者の意見を尊重しながら問題を解決しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	実習を通して、情報デザインのプロセスと問題の発見についての演習を行う。 ・振り返りシートにより単元の学習を振り返る。		<input type="radio"/>		【思考・判断・表現】 プリントの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
2 (3)	前回の演習の成果物をもとに、ピクトグラムツールで作品作りの演習を行う。 ・振り返りシート、実習データにより単元の学習を振り返る。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		【知識・技能】 プリントの記述の確認 【思考・判断・表現】 「振り返りシート」の記述の分析
後日	・定期テスト	<input type="radio"/>			【知識・技能】 定期テスト

指導と評価の計画

教科名 :

情報

科目名 :

情報 I

1 単元名 :

情報通信ネットワークのしくみ

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
情報通信ネットワークを構成する要素とその役割やプロトコルとIPについて理解している。また、情報セキュリティに求められる3つの要素や暗号化のしくみや認証技術について理解している。	目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける構成要素を選択することができ、コンピュータネットワークでどのように情報がやり取りされているか説明することができる。また、認証技術や暗号化のしくみについて説明することができ、適切な使用を判断できる。	情報通信ネットワークに興味を持ち、主体的に活用しようとしている。また、情報セキュリティの科学的な理解に努め、情報通信ネットワークを適切に活用しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	教科書やプリントを通して、コンピュータネットワークの全体像と接続についてのまとめを行う。 ・振り返りシートおよびデジタル課題により単元の学習を振り返る。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	【知識・技能】 プリントの記述の確認 デジタルデータの確認 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析 「デジタル課題」の内容の分析
2 (2)	教科書やプリントを通して、データ転送のしくみと暗号化・認証技術についてのまとめを行う。 ・振り返りシートおよびデジタル課題により単元の学習を振り返る。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		【知識・技能】 プリントの記述の確認 デジタルデータの確認 【思考・判断・表現】 「振り返りシート」の記述の分析 「デジタル課題」の内容の分析
後日	・定期テスト	<input type="radio"/>			【知識・技能】 定期テスト

指導と評価の計画

教科名 :

情報

科目名 :

情報 I

1 単元名 :

情報システムとデータベース

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
身のまわりにある情報システムや情報システムとデータベースの関係について理解している。また、さまざまなデータベース管理システムについて理解している。	情報システムを構成する技術が各種分野でも利用されていることが考えられる。データモデルの違いを考え、データモデルの種類に応じて設計することができ、さまざまなデータベース管理システムについて説明することができる。	現状、活用している情報システムを知ることで、普段気づいていない情報システムについても主体的に調べようとし、未来の情報システムを想像しようとしている。また、さまざまなデータベース管理システムについて利用されている活用例を主体的に調べ、理解を深めようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (6)	教科書やプリントを通して、情報システムとデータベース管理システムの役割についてのまとめを行う。 ・振り返りシートおよびデジタル課題により単元の学習を振り返る。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	【知識・技能】 プリントの記述の確認 デジタル課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析 「デジタル課題」の内容の分析
後日	・定期テスト	<input type="radio"/>			【知識・技能】 定期テスト

指導と評価の計画

教科名 :

情報

科目名 :

情報 I

1 単元名 :

データの活用

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
データ分析の手順や量的データ・質的データの違いについて理解している。また、テキストデータの処理方法やWebサービスを利用しないテキストデータを分析する方法について理解している。	データ収集方法によるメリット・デメリットを判断し、適切な方法で実習のためのデータ収集ができる。また、身のまわりのデータを分類し、表計算ソフトウェアを利用して数値データの分析・表現することができる。	数値データの分析は身のまわりのどのような場面で活用されているか、観察しようとしている。また、実際のテキストデータから特徴を抽出しようと試行錯誤し、改善しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7) 時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (7)	教科書やプリントを通して、問題解決におけるデータの収集・整理・分析についてのまとめを行う。 ・振り返りシートおよびデジタル課題により単元の学習を振り返る。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<p>【知識・技能】 プリントの記述の確認 デジタルデータの確認</p> <p>【思考・判断・表現】 「振り返りシート」の記述の分析 「デジタル課題」の内容の分析</p>
後日	・定期テスト	<input type="radio"/>			【知識・技能】 定期テスト

指導と評価の計画

教科名 :

情報

科目名 :

情報 I

1 単元名 :

コンピュータのしくみ

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
コンピュータの基本的な構成やソフトウェアの種類やOSの役割などを理解している。また、CPUのしくみとメインメモリの役割について理解し、論理回路を組み合わせたものから自分で真理値表を作成することや、2の補数・浮動小数点数を表現できる。	コンピュータを構成する各装置とデータの流れと制御の流れやOSの役割などについて説明することができる。また、論理回路を組み合わせたものから自分で真理値表を作成することや、2の補数・浮動小数点数を表現できる。	スマートフォンの内部をインターネットで調べる活動や、インターフェースを確認する活動に積極的に取り組もうとしている。また、自ら真理値表を考え作成することや、理解を深めるために、2進法のさまざまな計算することに主体的に取り組もうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(3) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	教科書やプリントを通して、コンピュータの基本的な構成・ソフトウェアやOSについてのまとめを行う。 ・振り返りシートおよびデジタル課題により単元の学習を振り返る。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	【知識・技能】 プリントの記述の確認 デジタルデータの確認 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析 「デジタル課題」の内容の分析
2 (2)	教科書やプリントを通して、CPUとメモリ・2進法による計算についてのまとめを行う。 ・振り返りシートおよびデジタル課題により単元の学習を振り返る。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【思考・判断・表現】 プリントの記述の確認 デジタルデータの確認 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析 「デジタル課題」の内容の分析
後日	・定期テスト	<input type="radio"/>			【知識・技能】 定期テスト

指導と評価の計画

教科名 :

情報

科目名 :

情報 I

1 単元名 :

アルゴリズムとプログラミング

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
アルゴリズムの基本構造や表現する図や表について理解している。また、プログラムの構成要素である変数・データ型・演算の意味や種類を理解し、プログラミングによってコンピュータを活用する技能を身に付けている。	基本構造を組み合わせて、アルゴリズムを構造化し図や表で表現することでアルゴリズムを可視化できる。また、プログラムをフローチャートで表現し、プログラムの中身を理解し、目的に応じて自分でアレンジすることができる。	処理対象を自分で考え、アルゴリズムを構造化・可視化しようとしている。また、身近な問題の解決にプログラムを積極的に活用し、そのプログラムの過程・結果を粘り強く評価・改善し、理解を深めようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(9)時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	教科書やプリント、演習課題を通して、アルゴリズムの基本についてのまとめを行う。 振り返りシート、演習課題により単元の学習を振り返る。	○			【知識・技能】 プリントの記述、演習課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析 「演習課題」の取り組みの確認
2 (3)	教科書やプリント、演習課題を通して、プログラミングの構成要素についてのまとめを行う。 設計シート、演習課題により単元の学習を振り返る。	○			【知識・技能】 プリントの記述、演習課題の確認 【思考・判断・表現】 「設計シート」の記述の分析 「演習課題」の取り組みの確認
3 (3)	教科書やプリント、演習課題を通して、アプリケーションの開発についてのまとめを行う。 設計シート・振り返りシート、演習課題により単元の学習を振り返る。 単元確認の小テストを行う。	○			【思考・判断・表現】 プリントの記述、演習課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析 「演習課題」の取り組みの確認

指導と評価の計画

教科名 :

情報

科目名 :

情報 I

1 単元名 :

モデル化とシミュレーション

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会や自然などにおける事象をモデル化する方法について理解している。また、モデル化とシミュレーションの手順について理解し、モデルを使ってシミュレーションを行う技能を身に付けています。	問題解決の場面に応じて、適切なモデルを選択し表現することができる。 また、プログラムを用いて、目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行い、その過程を評価し改善することができる。	身近な問題を解決するためのモデル化に、積極的に取り組もうとしている。また、シミュレーションの結果をもとに、モデルを修正する改善を繰り返し、より良い検証結果を得ようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	教科書やプリント、演習課題を通して、モデルについてのまとめを行う。 振り返りシート、演習課題により単元の学習を振り返る。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	【知識・技能】 プリントの記述、演習課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析 「演習課題」の取り組みの確認
2 (3)	教科書やプリント、演習課題を通して、コンピュータを利用したシミュレーションについてのまとめを行う。 振り返りシートおよびデジタル課題により単元の学習を振り返る。 単元確認の小テストを行う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【思考・判断・表現】 プリントの記述、演習課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析 「演習課題」の取り組みの確認

指導と評価の計画

教科名 :

職業

科目名 :

職業と生活 I

1 単元名 :

速度入力

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①ローマ字で書かれた短文を読んだり、日本語の短文をローマ字で書いたりすることができます。</p> <p>②クロームブックでクラスルームを利用して、課題を提出することができる。</p>	<p>報告・連絡・相談といった、仕事をするうえで必要なコミュニケーションを取ることができ</p>	<p>る。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(11) 時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を確認する。 ・職業という授業を行う意味を知る。 ・持ち物を確認する。 ・入室から授業が始まるまでに準備することを知る。 ・オアシスヨの説明をし、練習する。 ・振り返りを書く。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】 授業への取り組み、プリントの記述内容</p> <p>【思考・判断・表現】 振り返りの記入内容</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの練習の様子、振り返りの記述状況</p>
2 (7)	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・ローマ字の作りを理解する。 ・「あ」～「ん」までをローマ字でプリントに書く。 ・濁音・拗音をローマ字でプリントに書く。 ・小さい「っ」の書き方を覚え、プリントに書く。 ・短文をローマ字でプリントに書く。 ・振り返りを書く。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】 授業への取り組み、プリントの記入内容</p> <p>【思考・判断・表現】 授業への取り組み、振り返りの記述内容</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子、振り返りの記入状況</p>
3 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・キーの配置やホームポジションを知り、練習する。 ・ローマ字入力の練習をする。 ・振り返りを書く。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】 プリントの記入内容 入力練習での技能の向上</p> <p>【思考・判断・表現】 授業への取り組み、振り返りの記述内容</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 入力の練習への取り組み、振り返りの記述状況</p>

指導と評価の計画

教科名 :

職業

科目名 :

職業と生活 I

1 単元名 :

S S E (ソーシャルスキル教育)

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ルールやマナーについての知識を身に付けています。	身近な他者との関わりについて、ルールやマナーを踏まえて、場面に応じた行動を取ることができる。	他者との関わりに必要な知識や能力を身に付けようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(11) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 目標を確認する。 オアシスヨを唱和する。 報連相、挨拶の必要性を知る。 自分ができること、できないことを知る。 自己紹介のプリントを書き、発表する。 他者に質問し、相手のことを知る。 振り返りを書く。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	【知識・技能】 プリントの記入内容 【思考・判断・表現】 プリントの記入内容 【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況
2 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 目標を確認する。 オアシスヨを唱和する。 自転車のルールとマナーを知る。 スマートフォンのルールとマナーを知る。 授業内容を書く。 振り返りを書く。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	【知識・技能】 プリントの記入内容 【思考・判断・表現】 プリントの記入内容 【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況
3 (3)	<ul style="list-style-type: none"> 目標を確認する。 オアシスヨを唱和する。 なぜ働くのかを考える。 働くために必要なことを考える。 自分に足りないものを考える。 自分の考えをプリントに書く。 振り返りを書く。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	【知識・技能】 プリントの記入内容 【思考・判断・表現】 プリントの記入内容 【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況

指導と評価の計画

教科名 :

職業

科目名 :

職業と生活 I

1 単元名 :

速度入力

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①日本語の文章をタイピングしたり、体裁を整えたりすることができる。 ②クロームブックでクラスルームを利用して、課題を提出することができる。	報告・連絡・相談といった、仕事をするうえで必要なコミュニケーションを取ることができる。	様々な作業や技能に対し興味を持って関わろうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(12)時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 目標を記入し、確認する。 オアシスヨを唱和する。 タイピング練習をする。 クロームブックの使い方。 文章入力の練習をする。 授業内容を書く。 振り返りを書く。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】 授業への取り組み、プリントの記述内容</p> <p>【思考・判断・表現】 振り返りの記入内容</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの練習の様子、振り返りの記述状況</p>
2 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 目標を記入し、確認する。 オアシスヨを唱和する。 タイピング練習をする。 クロームブックの使い方。 文章入力の練習をする。 (入力速度の向上を目指す) 授業内容を書く。 振り返りを書く。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】 授業への取り組み、プリントの記入内容</p> <p>【思考・判断・表現】 授業への取り組み、振り返りの記述内容</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況</p>
3 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 目標を記入し、確認する。 オアシスヨを唱和する。 タイピング練習をする。 文章入力の練習をする。 (書式を整えるなどビジネス文書の作成をする) 授業内容を書く。 振り返りを書く。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】 プリントの記入内容 入力練習での技能の向上</p> <p>【思考・判断・表現】 授業への取り組み、振り返りの記述内容</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 入力の練習への取り組み、振り返りの記述状況</p>

指導と評価の計画

教科名 :

職業

科目名 :

職業と生活 I

1 単元名 :

S S E (ソーシャルスキル教育)

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ルールやマナーについての知識を身に付けている。	身近な他者との関わりについて、ルールやマナーを踏まえて、場面に応じた行動を取ることができる。	他者との関わりに必要な知識や能力を身に付けようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(12) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 目標を記入し、確認する。 オアシスヨを唱和する。 身近なルールとマナー (自転車・スマートフォンを例として) 授業内容を書く。 振り返りを書く。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】 プリントの記入内容</p> <p>【思考・判断・表現】 プリントの記入内容</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況</p>
2 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 目標を記入し、確認する。 オアシスヨを唱和する。 働くときのルールとマナー (服装・身だしなみ・持ち物・言葉づかい) 授業内容を書く。 振り返りを書く。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】 プリントの記入内容</p> <p>【思考・判断・表現】 プリントの記入内容</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況</p>
3 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 目標を記入し、確認する。 オアシスヨを唱和する。 働くときのルールとマナー (アドバイスの受け方・アンガーマネージメント) 授業内容を書く。 振り返りを書く。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】 プリントの記入内容</p> <p>【思考・判断・表現】 プリントの記入内容</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況</p>

指導と評価の計画

教科名 :

職業

科目名 :

職業と生活 I

1 単元名 :

速度入力

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①日本語の文章をタイピングしたり、体裁を整えたりすることができます。 ②クロームブックでクラスルームを利用して、課題を提出することができる。	報告・連絡・相談といった、仕事をするうえで必要なコミュニケーションを取ることができます。	様々な作業や技能に対し興味を持って関わろうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7)時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を記入し、確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・タイピング練習をする。 ・クロームブックの使い方。 ・文章入力の練習をする。 (入力速度の向上を目指す) ・授業内容を書く。 ・振り返りを書く。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	【知識・技能】 授業への取り組み、プリントの記入内容 【思考・判断・表現】 授業への取り組み、振り返りの記述内容 【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況
2 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を記入し、確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・タイピング練習をする。 ・文章入力の練習をする。 (書式を整えるなどビジネス文書の作成をする) ・授業内容を書く。 ・振り返りを書く。 	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	【知識・技能】 プリントの記入内容 入力練習での技能の向上 【思考・判断・表現】 授業への取り組み、振り返りの記述内容 【主体的に学習に取り組む態度】 入力の練習への取り組み、 振り返りの記述状況

指導と評価の計画

教科名 :

職業

科目名 :

職業と生活 I

1 単元名 :

S S E (ソーシャルスキル教育)

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ルールやマナーについての知識を身に付けている。	身近な他者との関わりについて、ルールやマナーを踏まえて、場面に応じた行動を取ることができる。	他者との関わりに必要な知識や能力を身に付けようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7) 時間扱い

 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を記入し、確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・働くときのルールとマナー(来客への対応) ・授業内容を書く。 ・振り返りを書く。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】 プリントの記入内容</p> <p>【思考・判断・表現】 プリントの記入内容</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況</p>
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を記入し、確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・働くときのルールとマナー(ICT機器の取り扱い、情報の取り扱い) ・授業内容を書く。 ・振り返りを書く。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識・技能】 プリントの記入内容</p> <p>【思考・判断・表現】 プリントの記入内容</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況</p>

令和7年度 上鶴間高等学校 年間指導計画 [第1学年 総合的な探究の時間]

第1学年(年次)の探究課題			広く職業について学ぶ														
履修単位数(時間数)			1単位(30時間)														
教育課程実施に係る位置付け			<input checked="" type="checkbox"/> 時間割に位置付けて実施 <input type="checkbox"/> 時間割に位置付けるとともにある期間に集中して実施 (集中して実施する期間:)														
評価の観点の趣旨			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価の観点</th><th>評価の観点の趣旨</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a</td><td>知識・技能</td><td>探究の過程をとおして、課題の発見と解決に必要な知識・技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。</td></tr> <tr> <td>b</td><td>思考・判断・表現</td><td>実社会や実生活と自己との関わりから問い合わせを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。</td></tr> <tr> <td>c</td><td>主体的に学習に取り組む態度</td><td>探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を身に付けている。</td></tr> </tbody> </table>			評価の観点		評価の観点の趣旨	a	知識・技能	探究の過程をとおして、課題の発見と解決に必要な知識・技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。	b	思考・判断・表現	実社会や実生活と自己との関わりから問い合わせを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	c	主体的に学習に取り組む態度	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を身に付けている。
評価の観点		評価の観点の趣旨															
a	知識・技能	探究の過程をとおして、課題の発見と解決に必要な知識・技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。															
b	思考・判断・表現	実社会や実生活と自己との関わりから問い合わせを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。															
c	主体的に学習に取り組む態度	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を身に付けている。															
学期	時間数	指導事項 (探究の学習過程)	主な学習活動	評価規準	単元												
1学期	4	① 課題の設定	○ガイダンス ○キャリア・パスポートの活用 ○自分の興味関心から課題設定	a 課題の発見と解決に必要な知識・技能を身に付け、探究の意義を理解している。 b 自分自身の適性や能力を知るために、自ら課題を立て、計画することができる。 c 課題の設定、計画の立案に主体的・協働的に取り組んでいる。	課題の設定と計画の立案												
2学期	13	② 情報の収集	○高校についての理解を深める ・高校で学ぶ教科についての理解 ・進路選択に向けた学習の仕方 ・2年次の選択科目 ○上級学校を知ろう ・オーブンキャンパス ・大学体験プログラム ○職業について知ろう ○自分の設定した課題の情報収集	a 情報を収集するために必要な知識・技能を身に付けている。 b 自分自身の適性や能力を生かすデータとして妥当なものであるか判断することができる。 c 情報の収集に主体的・協働的に取り組んでいる。	データの収集												
3学期	8	③ 整理・分析	○「進路講演会」 ・仕事研究 ・仕事とは何かを考える ・より具体的な進路を考える ○設定した課題の整理・分析	a 情報を整理、分析するための知識・技能を身に付けている。 b 情報の整理、分析をとおして、自分の適性や能力を生かすための進路を考察することができる。 c 情報の整理、分析、考察に主体的・協働的に取り組んでいる。	整理・分析・考察												
	5	④ まとめ・表現	○まとめ・発表	a 研究のまとめ・表現をとおして、探究に必要な知識・技能を認識するとともに、社会参画に関する概念を形成している。 b 進路実現に向けた方策を考察することができる。 c 研究のまとめ・表現、他者との意見交換に主体的・協働的に取り組み、学習の振り返りを行っている。	振り返りと発表												

※ 探究の学習の過程 (①課題の設定、②情報の収集、③整理・分析、④まとめ・表現)

【単元計画】 (単元ごとに記入) ※可能な範囲で記入してください。

単元名		広く職業について学ぶ		
単元の目標		<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識を身に付け自分自身のキャリア意識を形成する。 ・生徒が進路選択に向けて職業や学問について探究し、各自の適性、能力、関心に合った進路実現に向けて、主体的に判断する能力を育成する。 		
単元の評価規準	評価の観点		単元の評価規準	
	a	知識・技能	課題の発見と解決に必要な知識・技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。	
	b	思考・判断表現	実社会や実生活と自己との関わりから問い合わせを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	
	c	主体的に学習に取り組む態度	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を身に付けていく。	
小単元名 (時間数)	学習活動			評価規準及び評価方法
課題の設定 (3時間)	<input type="checkbox"/> ガイダンス <input type="checkbox"/> 進路希望調査 <input type="checkbox"/> 課題設定			<input type="checkbox"/> 振り返りシート <input type="checkbox"/> ポートフォリオ
情報の収集 (16時間)	<input type="checkbox"/> 将来の自分をイメージして進路について考える ・上級学校の学部、学科について ・2年次の選択科目 ・模擬授業 <input type="checkbox"/> 設定した課題について情報収集			<input type="checkbox"/> ポートフォリオ <input type="checkbox"/> 振り返りシート
整理・分析 (8時間)	<input type="checkbox"/> 将来の自分を見据えた進路について整理・分析する <input type="checkbox"/> 設定した課題について調査した内容を整理・分析する			<input type="checkbox"/> ポートフォリオ <input type="checkbox"/> 振り返りシート <input type="checkbox"/> 感想文
まとめ・表現 (3時間)	<input type="checkbox"/> まとめ <input type="checkbox"/> 発表 ・研究協議			<input type="checkbox"/> ポートフォリオ <input type="checkbox"/> 発表 <input type="checkbox"/> 研究協議